

問7 健康について

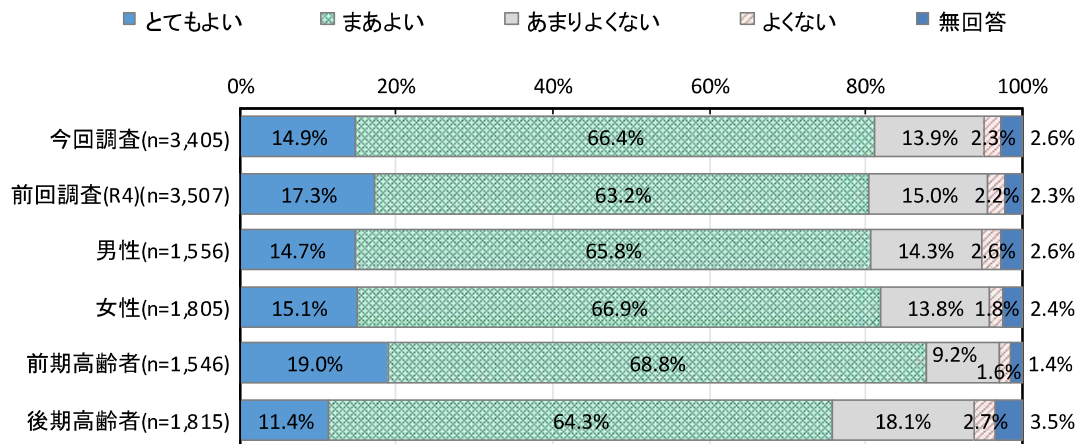
(1)現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つを選択)

全体では、「まあよい」66.4%が最も高く、次いで「とてもよい」14.9%、「あまりよくない」13.9%となっている。『よい』（「とてもよい」＋「まあよい」）の割合は81.3%を占める。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

男女別でみると、『よい』の割合は男性80.5%、女性82.0%となっている。

年代別でみると、『よい』の割合は前期高齢者87.8%、後期高齢者75.7%と前期高齢者が後期高齢者を12.1ポイント上回る。



(2)あなたは、現在どの程度幸せですか(1つを選択)

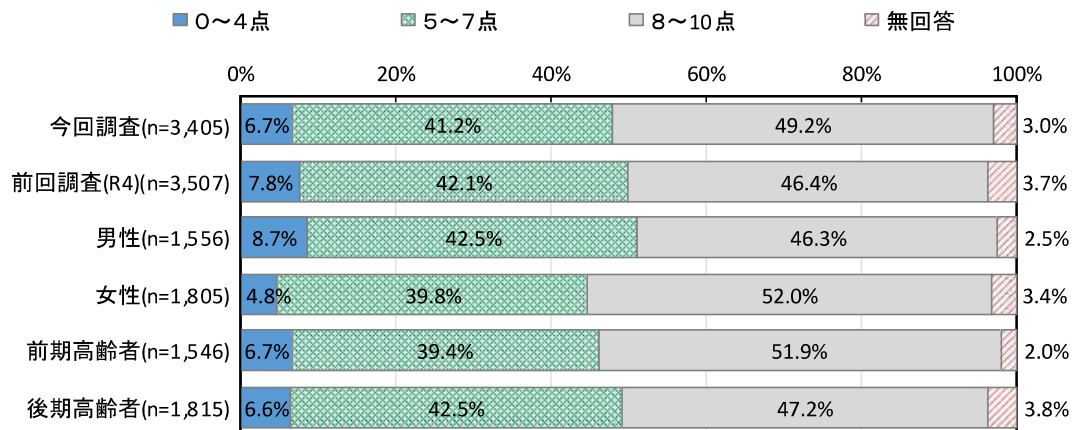
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数に「○」をしてください。)

全体では、「8～10点」49.2%が最も高く、次いで「5～7点」41.2%、「0～4点」6.7%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

男女別でみると、「8～10点」の割合は女性が男性を5.7ポイント上回る。

年代別でみると、大きな差異はみられない。



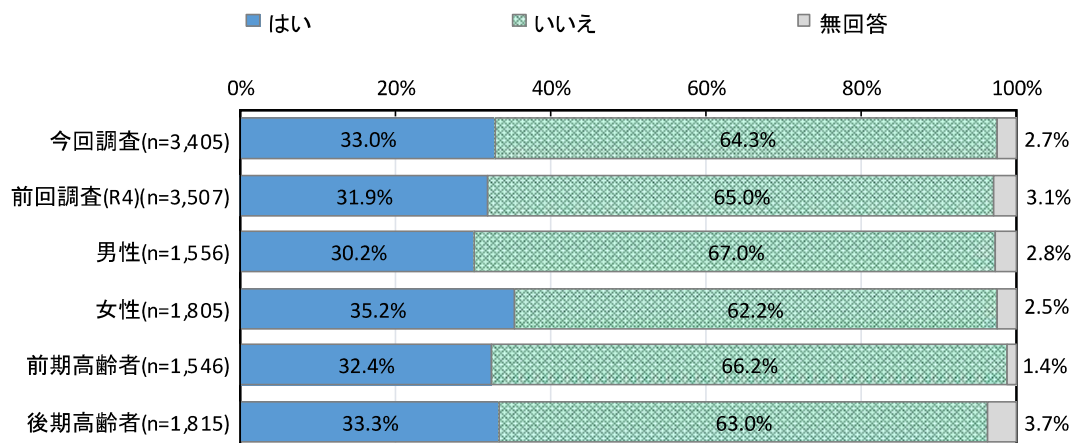
(3)この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
(1つを選択)

全体では、「はい」 33.0%、「いいえ」 64.3%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

男女別でみると、「はい」の割合は男性 30.2%、女性 35.2%と女性が男性を 5.0 ポイント上回る。

年代別でみると、大きな差異はみられない。



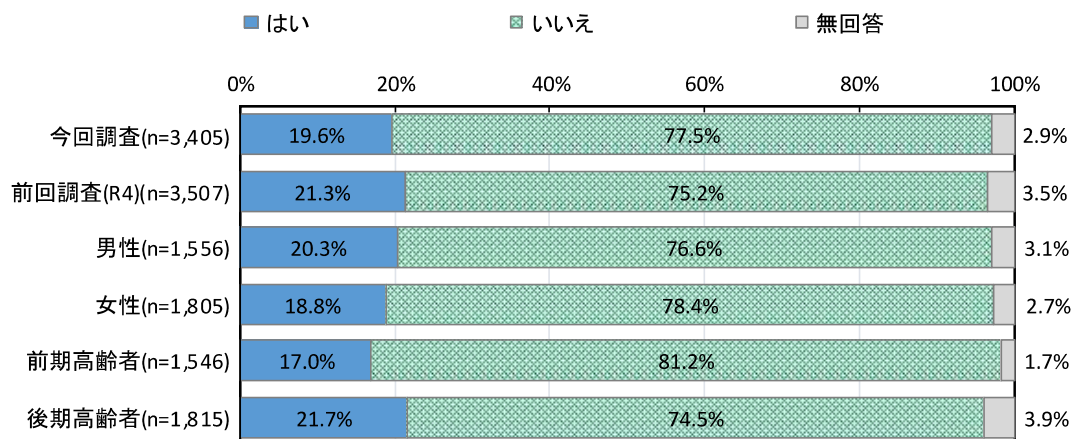
(4)この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つを選択)

全体では、「はい」 19.6%、「いいえ」 77.5%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

男女別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、「いいえ」の割合は前期高齢者 81.2%、後期高齢者 74.5%と前期高齢者が後期高齢者を 6.7 ポイント上回る。



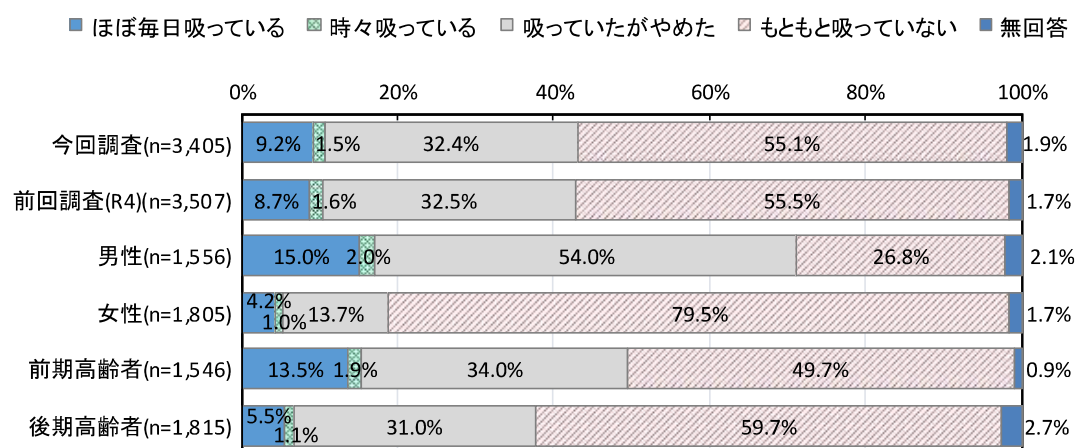
(5)タバコは吸っていますか。(1つを選択)

全体では、「もともと吸っていない」55.1%が最も高く、次いで「吸っていたがやめた」32.4%、「ほぼ毎日吸っている」9.2%となっている。『吸っている』（「ほぼ毎日吸っている」＋「時々吸っている」）の割合は10.7%を占める。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

男女別でみると、『吸っている』の割合は男性17.0%、女性5.2%と男性が女性を11.8ポイント上回る。

年代別でみると、『吸っている』の割合は前期高齢者15.4%、後期高齢者6.6%と前期高齢者が後期高齢者を8.8ポイント上回る。



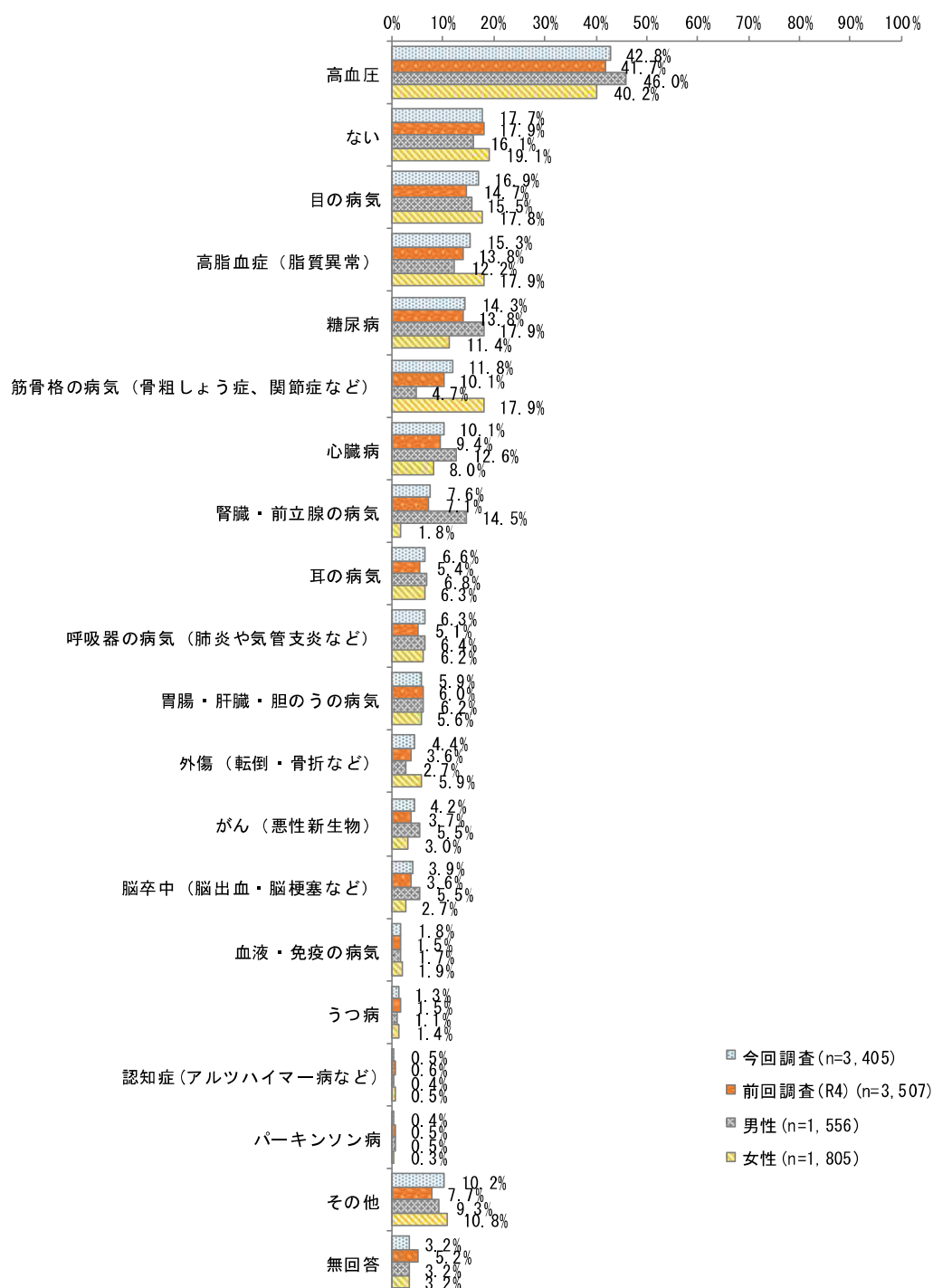
(6)現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(複数選択可)

全体では、「高血圧」42.8%が最も高く、次いで「ない」17.7%、「目の病気」16.9%となっている。
前回調査と比較して大きな差異はみられない。

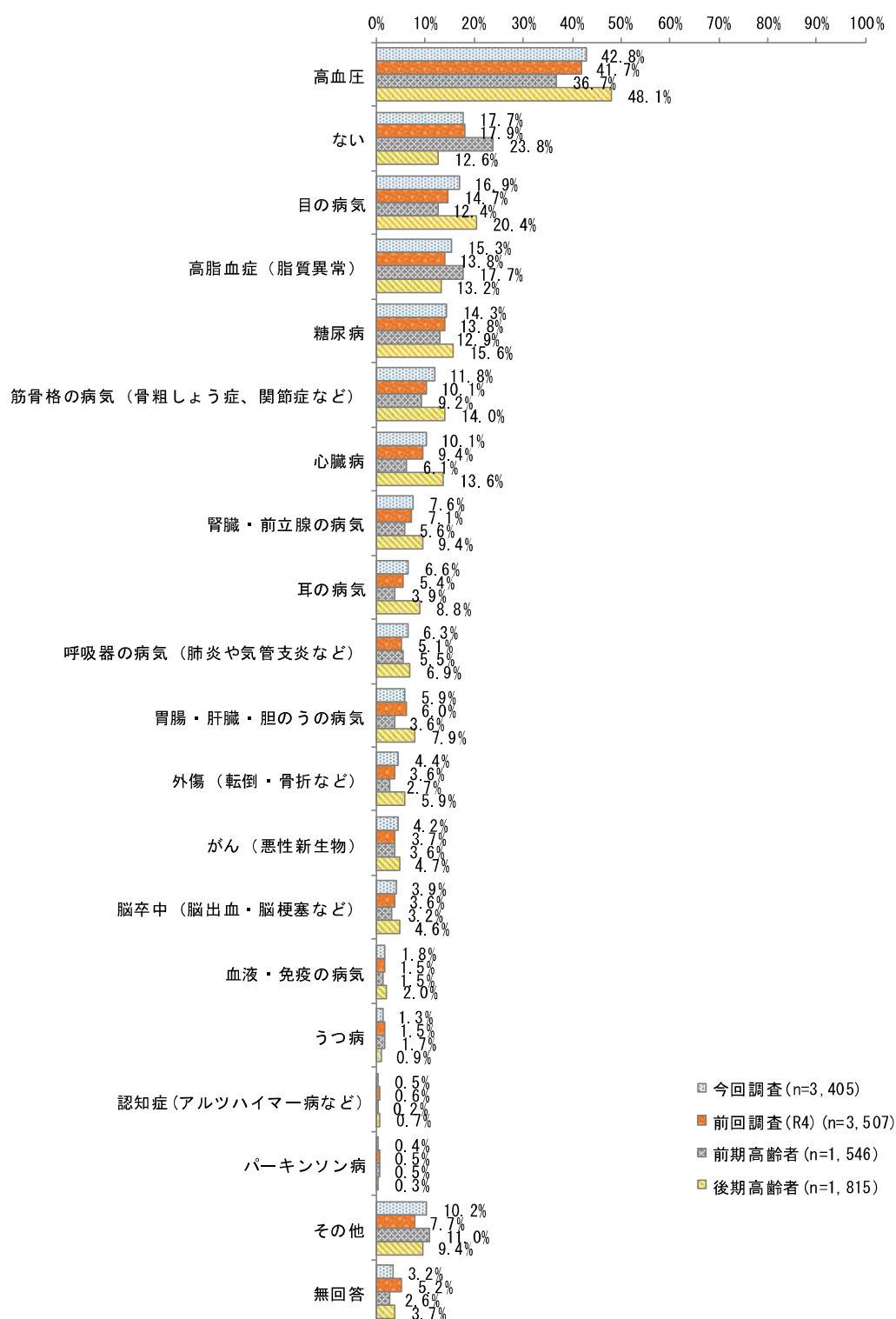
男女別でみると、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症など）」では女性が男性を13.2ポイント上回る。一方で、「腎臓・前立腺の病気」では12.7ポイント男性が女性より高くなっている。

年代別でみると、「高血圧」では11.4ポイント、「目の病気」では8.0ポイント、「心臓病」では7.5ポイント後期高齢者が前期高齢者より高くなっている。

【現在治療中、後遺症のある病気の有無（男女別）】



【現在治療中、後遺症のある病気の有無（年代別）】



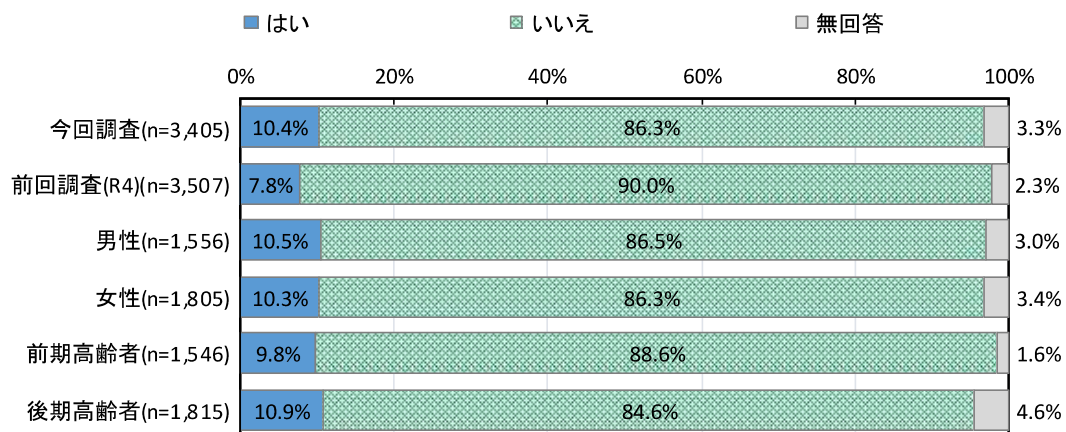
問8 認知症について

(1)ご自身に認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つを選択)

全体では、「はい」10.4%、「いいえ」86.3%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

男女別、年代別でみると、大きな差異はみられない。



(2)認知症に関する相談ができる相手のうち、知っているものはありますか。(複数選択可)

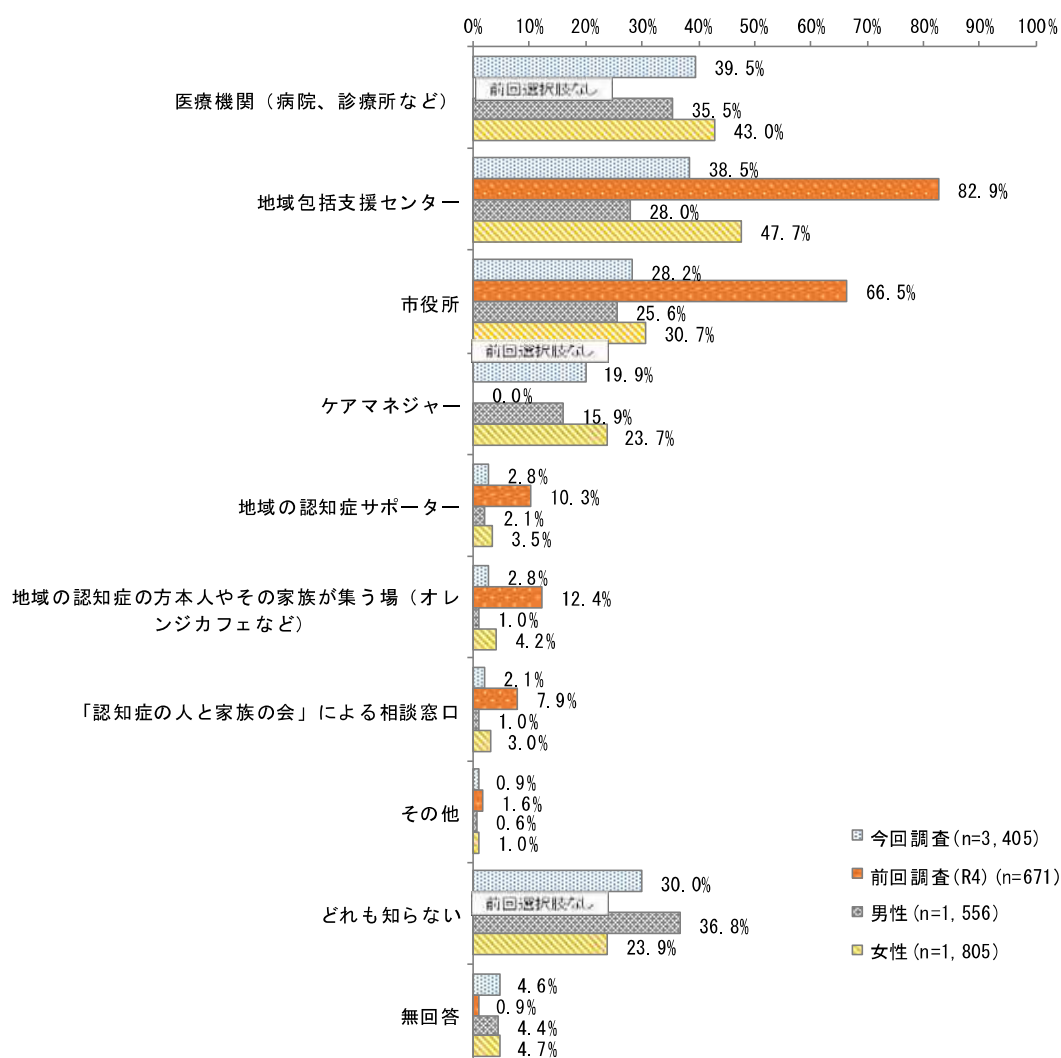
全体では、「医療機関（病院、診療所など）」39.5%が最も高く、次いで「地域包括支援センター」38.5%、「どれも知らない」30.0%となっている。

前回調査と比較すると、「地域包括支援センター」、「市役所」の割合は大きく低下している一方で、「医療機関（病院、診療所など）」、「ケアマネジャー」などに回答が分散し、相談先の認知が広がっていることがうかがえる。

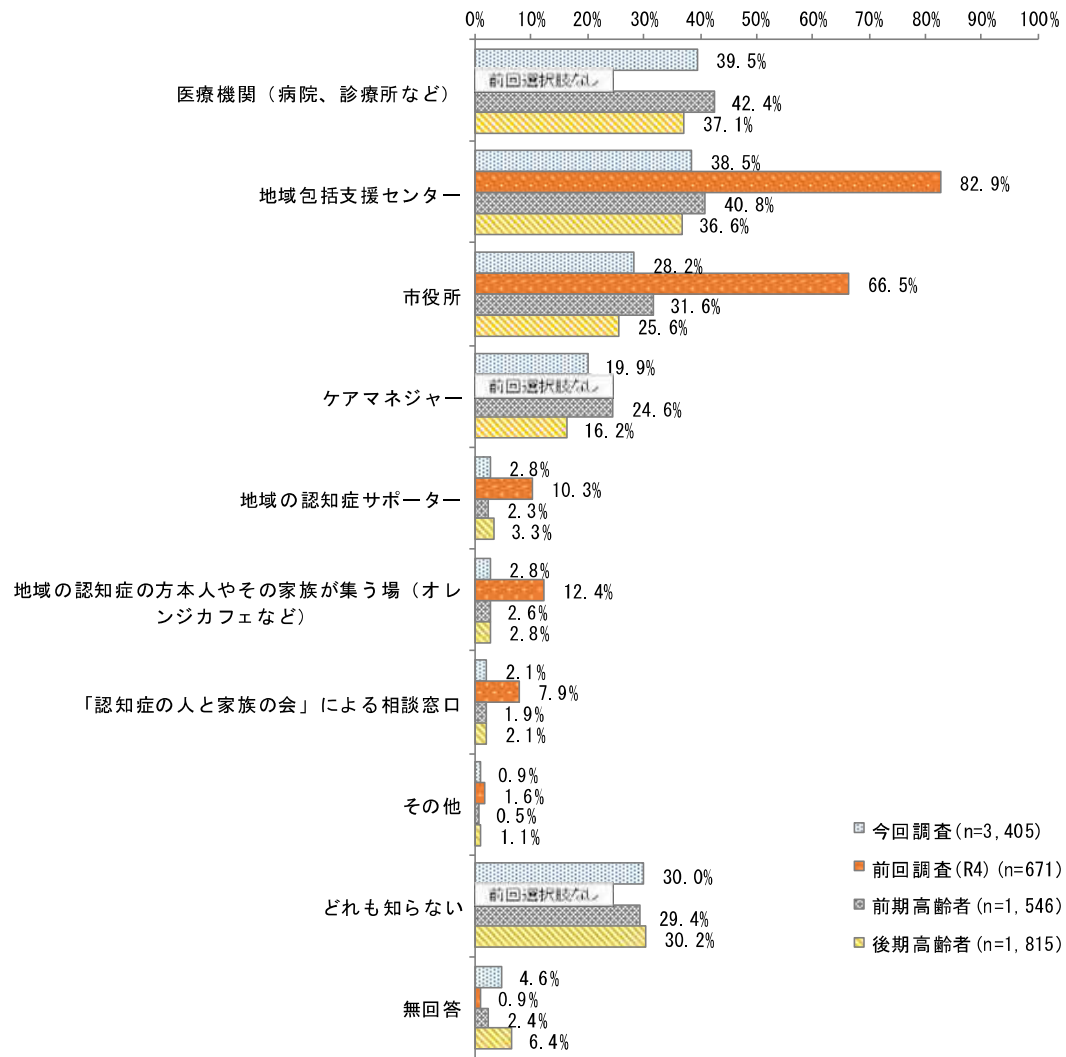
男女別でみると、「どれも知らない」では男性が女性を12.9ポイント上回る。一方で、「地域包括支援センター」では19.7ポイント、「ケアマネジャー」では7.8ポイント女性が男性よりいずれも高くなっている。

年代別でみると、「ケアマネジャー」では8.4ポイント前期高齢者が後期高齢者よりも高くなっている。

【認知症に関する相談先の認知（男女別）】



【認知症に関する相談先の認知（年代別）】



(3)認知症に対する取組として、必要だと思うことはありますか。(複数選択可)

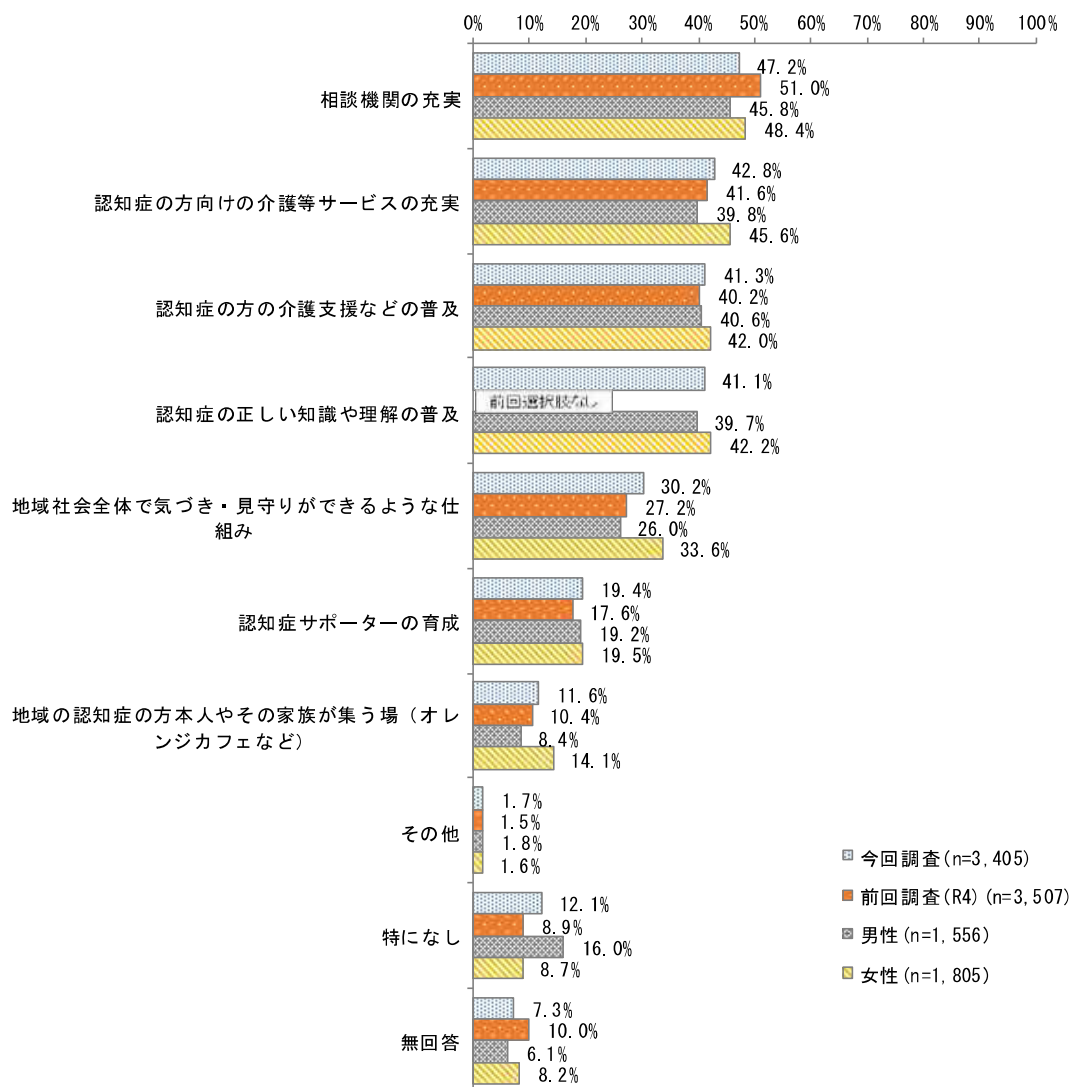
全体では、「相談機関の充実」47.2%が最も高く、次いで「認知症の方向けの介護等サービスの充実」42.8%、「認知症の方の介護支援などの普及」41.3%となっている。

前回調査と比較すると、今回新たに追加された「認知症の正しい知識や理解の普及」は41.1%を占め、その他の項目はいずれも大きな差異はみられない。

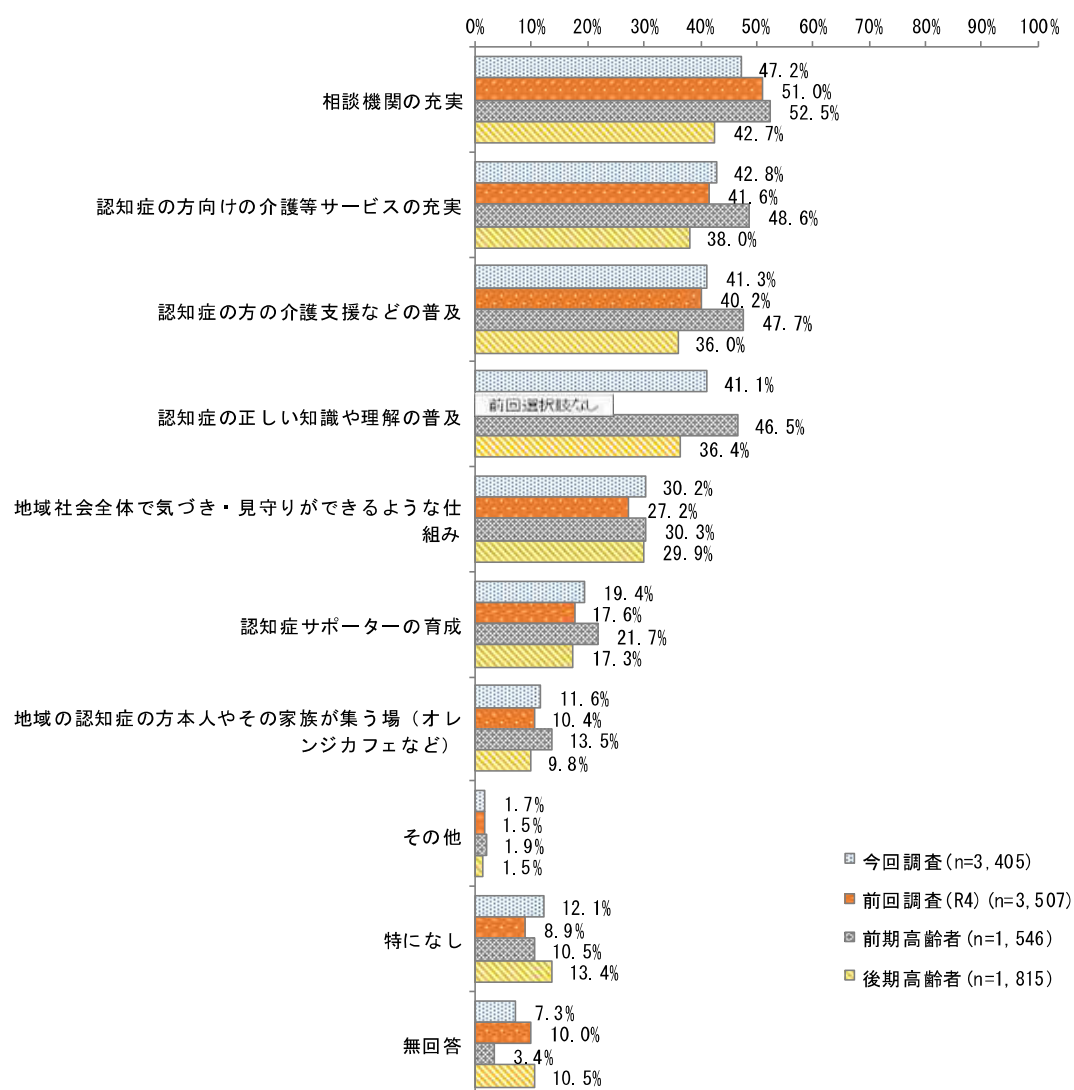
男女別でみると、「認知症の方向けの介護等サービスの充実」では5.7ポイント、「地域社会全体で気づき・見守りができるような仕組み」では7.6ポイント、「地域の認知症の方本人やその家族が集う場（オレンジカフェなど）」では5.7ポイント女性が男性を上回る。

年代別でみると、「相談機関の充実」では9.8ポイント、「認知症の方向けの介護等サービスの充実」では10.6ポイント、「認知症の方の介護支援などの普及」では11.7ポイント、「認知症の正しい知識や理解の普及」では10.1ポイント前期高齢者が後期高齢者より高くなっている。

【認知症に対する取組で必要だと思うもの（男女別）】



【認知症に対する取組で必要だと思うもの（年代別）】



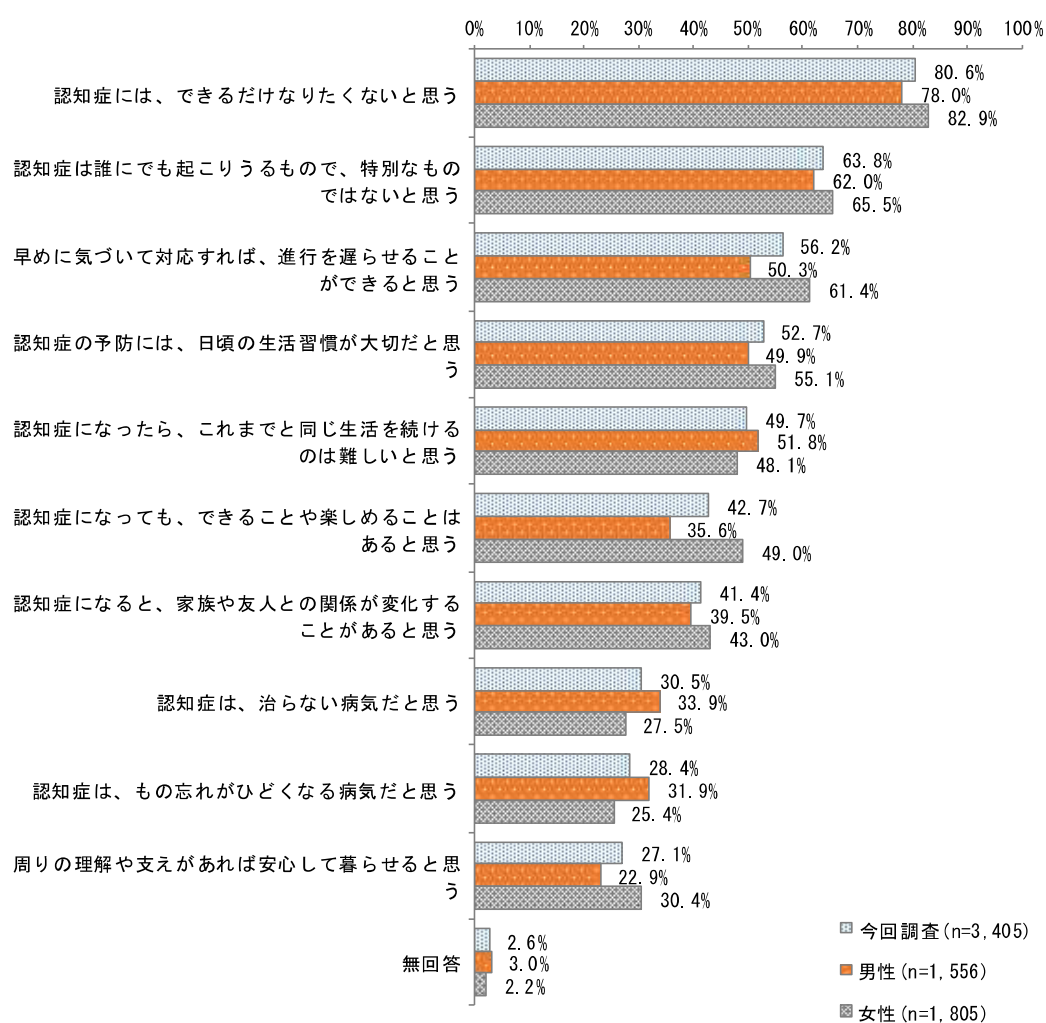
(4)あなたは認知症をどのように思いますか。(複数選択可)

全体では、「認知症には、できるだけなりたくないと思う」80.6%が最も高く、次いで「認知症は誰にでも起こりうるもので、特別なものではないと思う」63.8%、「早めに気づいて対応すれば、進行を遅らせることができると思う」56.2%となっている。

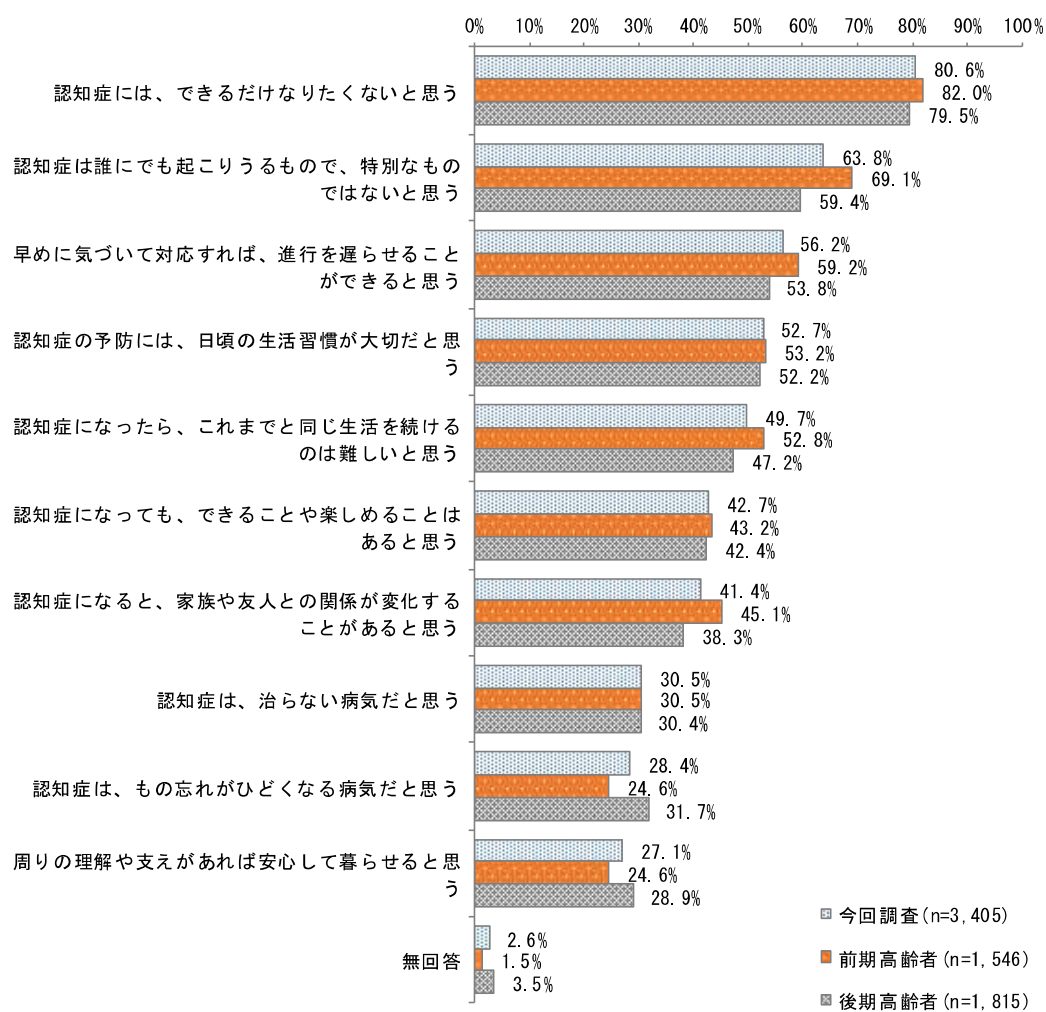
男女別でみると、予防や前向きな認識に関する項目で女性が男性を上回る傾向がみられ、「早めに気づいて対応すれば、進行を遅らせることができると思う」、「認知症になっても、できることや楽しめることはあると思う」ではいずれも11.1ポイント以上女性が男性より高くなっている。

年代別でみると、前期高齢者が後期高齢者を上回る項目の中でも、「認知症は誰にでも起こりうるもので、特別なものではないと思う」は9.7ポイント高くなっている。

【認知症をどのように思うか（男女別）】



【認知症をどのように思うか（年代別）】



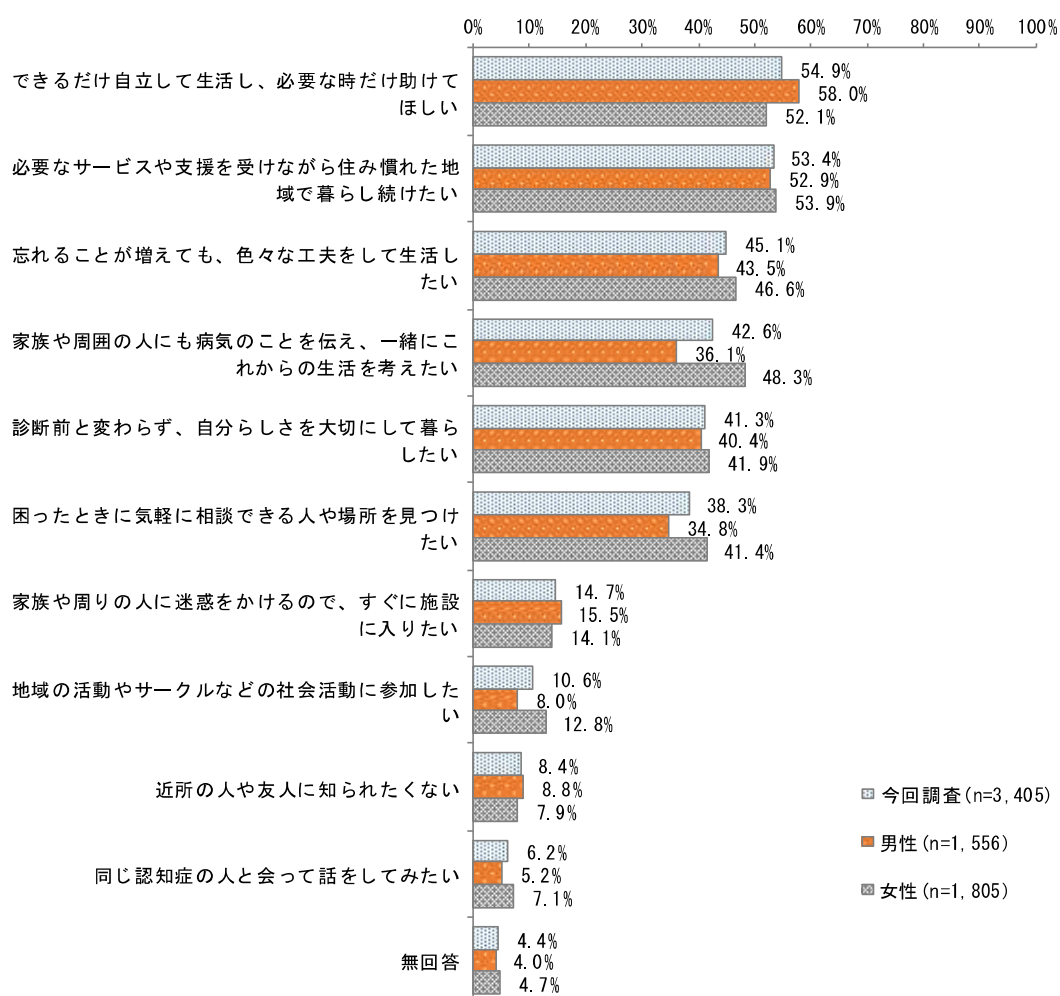
(5)あなたは認知症と診断されたら、その後どのように生活したいですか(複数選択可)

全体では、「できるだけ自立して生活し、必要な時だけ助けてほしい」54.9%が最も高く、次いで「必要なサービスや支援を受けながら住み慣れた地域で暮らし続けたい」53.4%、「忘れることが増えても、色々な工夫をして生活したい」45.1%となっている。

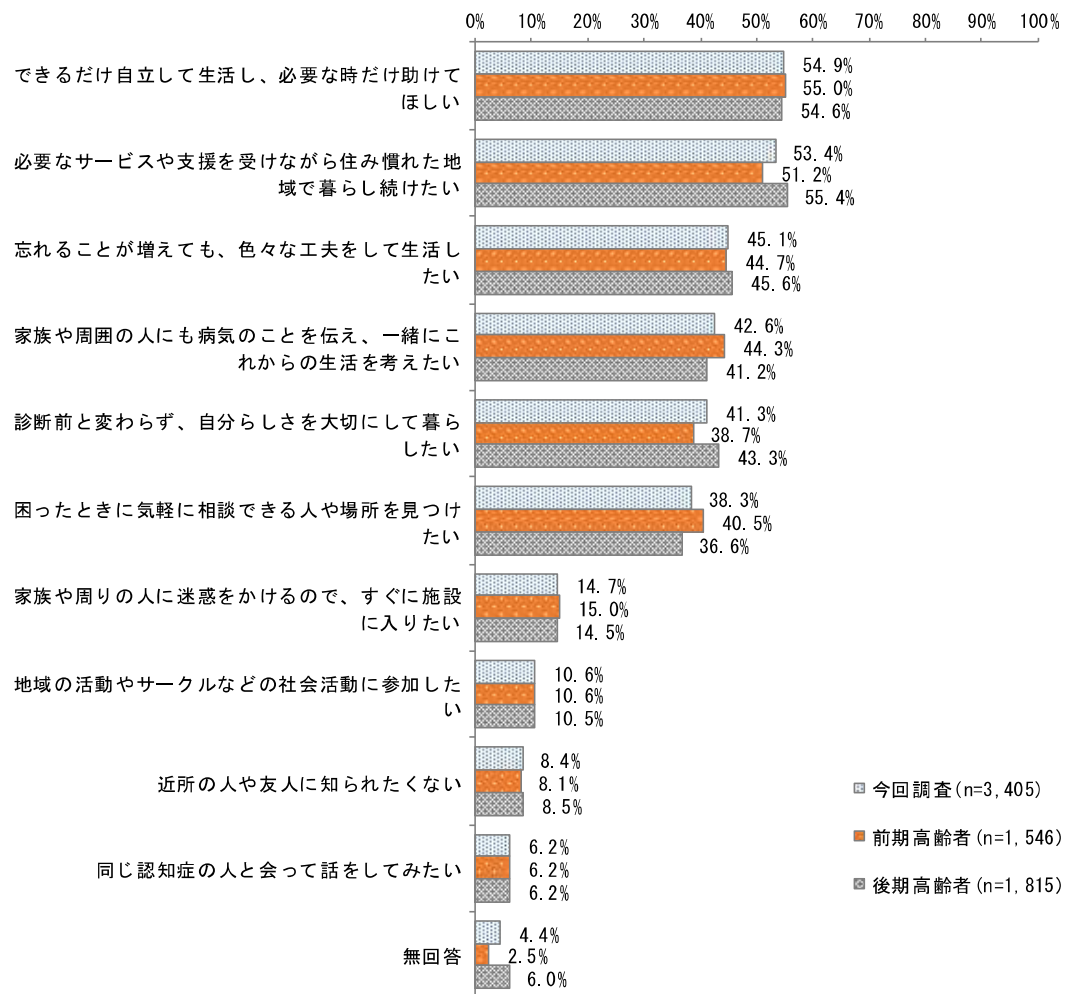
男女別でみると、「家族や周囲の人にも病気のことを伝え、一緒にこれからの生活を考えたい」で12.2ポイント、「困ったときに気軽に相談できる人や場所を見つけたい」で6.6ポイント女性が男性を上回る。一方で、「できるだけ自立して生活し、必要な時だけ助けてほしい」では5.9ポイント男性が女性より高くなっている。

年代別でみると、大きな差異はみられない。

【認知症と診断された後の生活（男女別）】



【認知症と診断された後の生活（年代別）】

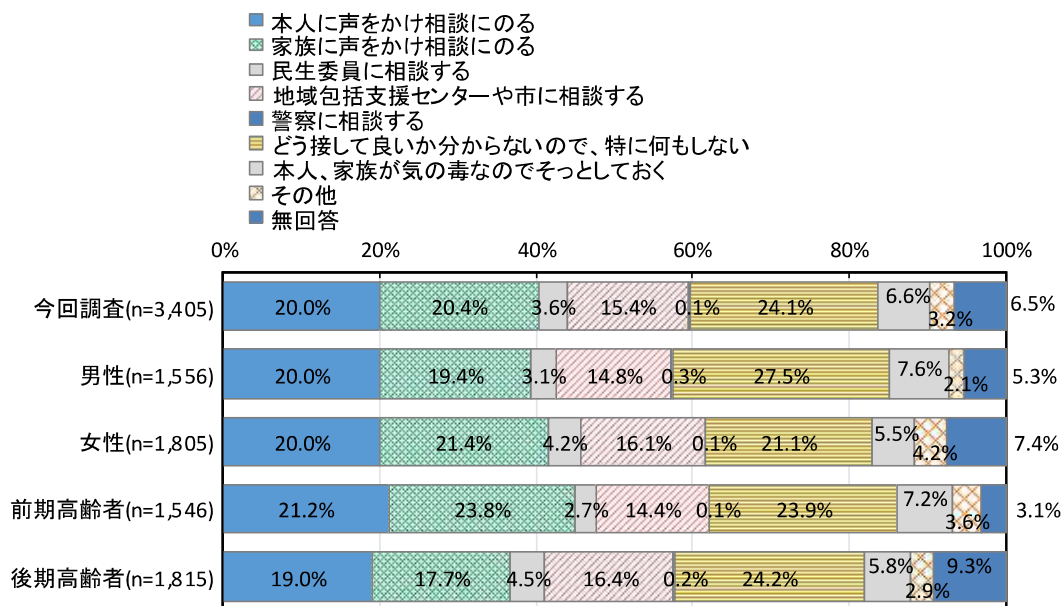


(6)あなたは、もし認知症と思われる方が知り合いにいたら、まずはどのように対応したいと思いますか(1つを選択)

全体では、「どう接して良いか分からないので、特に何もしない」24.1%が最も高く、次いで「家族に声をかけ相談にのる」20.4%、「本人に声をかけ相談にのる」20.0%となっている。

男女別でみると、「どう接して良いか分からないので、特に何もしない」の割合は男性27.5%、女性21.1%と男性が女性を6.4ポイント上回る。

年代別でみると、「家族に声をかけ相談にのる」の割合は前期高齢者23.8%、後期高齢者17.7%と前期高齢者が後期高齢者を6.1ポイント上回る。

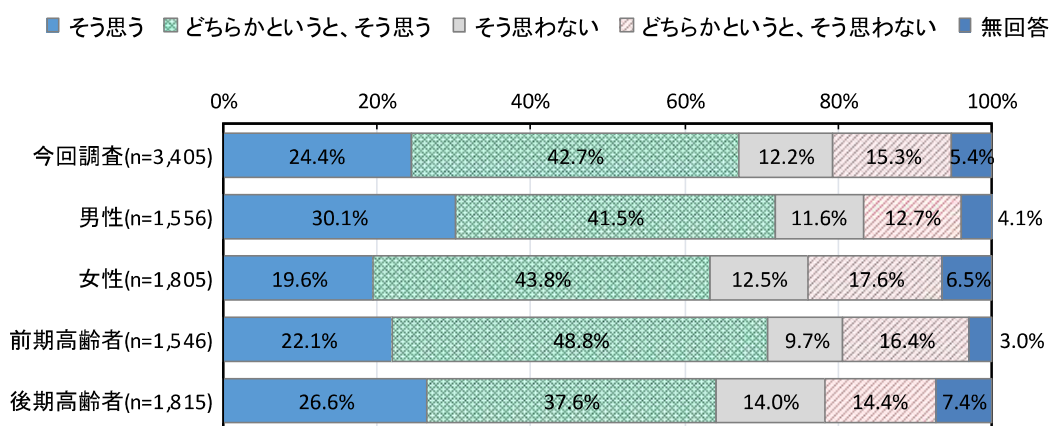


(7)あなたは、認知症になってからも住み慣れた地域で暮らし続けることができますか(1つを選択)

全体では、「どちらかという、そう思う」42.7%が最も高く、次いで「そう思う」24.4%、「どちらかという、そう思わない」15.3%となっている。『そう思う』（「そう思う」+「どちらかという、そう思う」）は67.1%を占める。

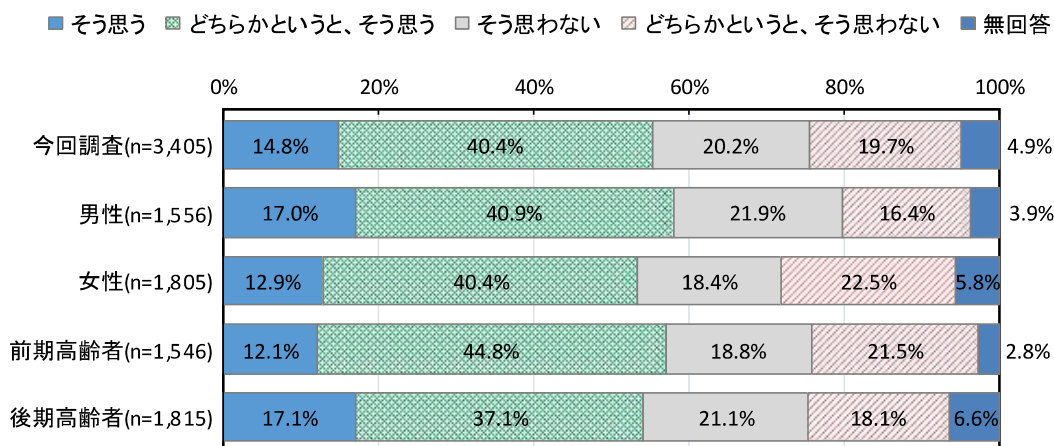
男女別でみると、『そう思う』の割合は男性71.6%、女性63.4%と男性が女性を8.2ポイント上回る。

年代別でみると、『そう思う』の割合は前期高齢者70.9%、後期高齢者64.2%と前期高齢者が後期高齢者を6.7ポイント上回る。



(8)あなたは、認知症になってからも希望を持って自分らしく暮らし続けることができますか(1つを選択)

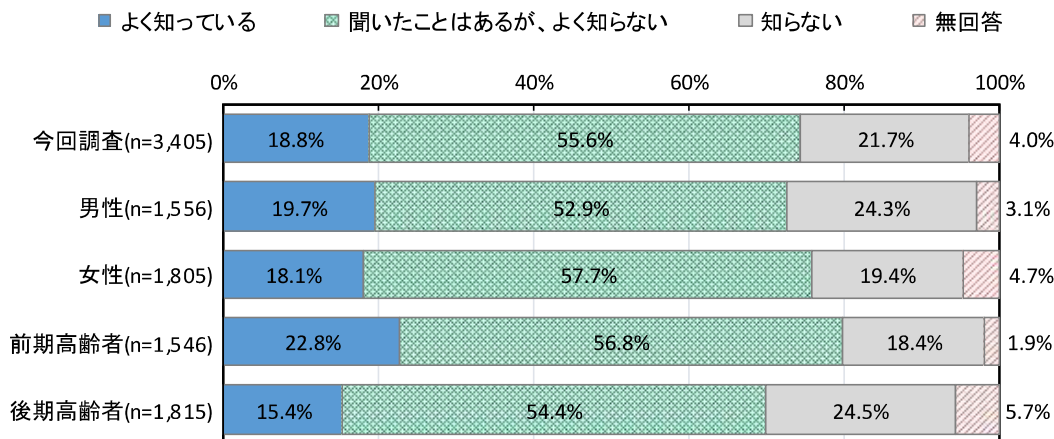
全体では、「どちらかという、そう思う」40.4%が最も高く、次いで「そう思わない」20.2%、「どちらかという、そう思わない」19.7%となっている。『そう思う』の割合は55.2%を占める。
男女別でみると、『そう思う』の割合は男性57.9%、女性53.3%と男性がやや高くなっている。
年代別でみると、『そう思う』の割合は前期高齢者56.9%、後期高齢者54.2%となっている。



問9 成年後見制度について

(1)成年後見制度について、知っていますか。(1つを選択)

全体では、「聞いたことはあるが、よく知らない」55.6%が最も高く、次いで「知らない」21.7%、「よく知っている」18.8%となっている。
男女別でみると、「知らない」の割合は男性24.3%、女性19.4%と男性が女性を4.9ポイント上回る。
年代別でみると、「よく知っている」の割合は前期高齢者22.8%、後期高齢者15.4%と前期高齢者が後期高齢者を7.4ポイント上回る。



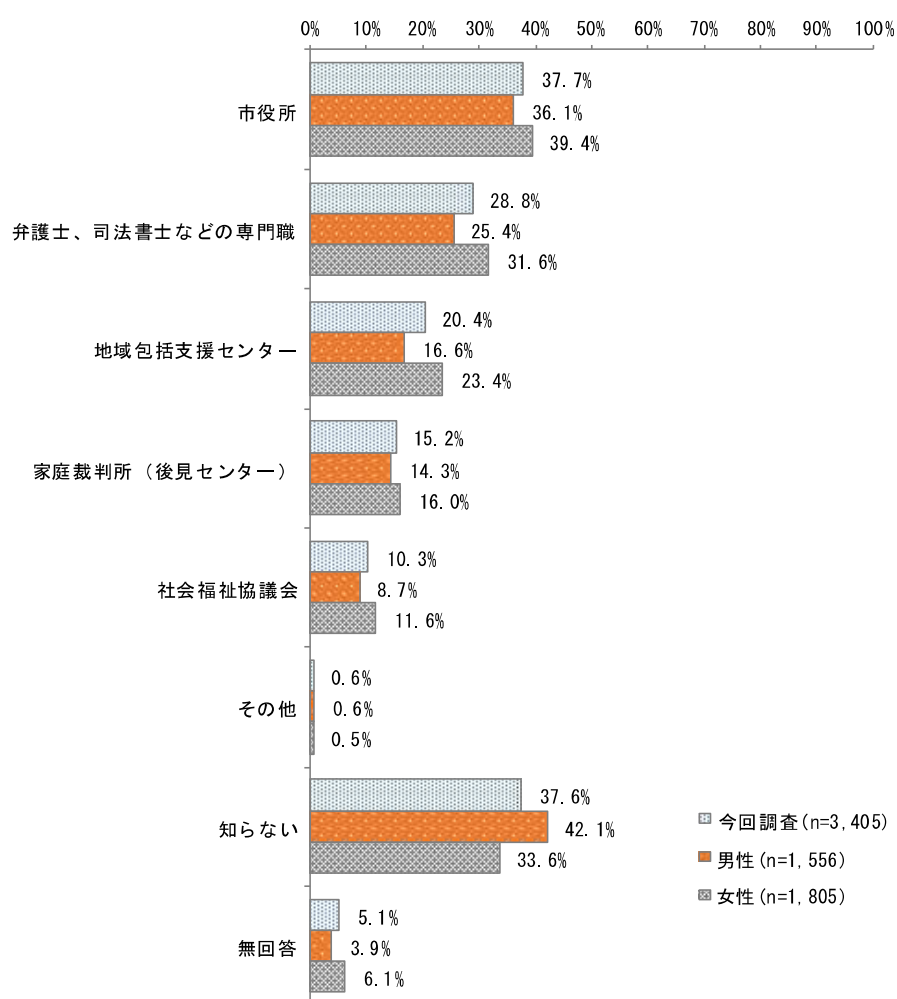
(2)成年後見制度に関する相談窓口のうち、知っているものはありますか。(複数選択可)

全体では、「市役所」37.7%が最も高く、次いで「知らない」37.6%、「弁護士、司法書士などの専門職」28.8%となっている。

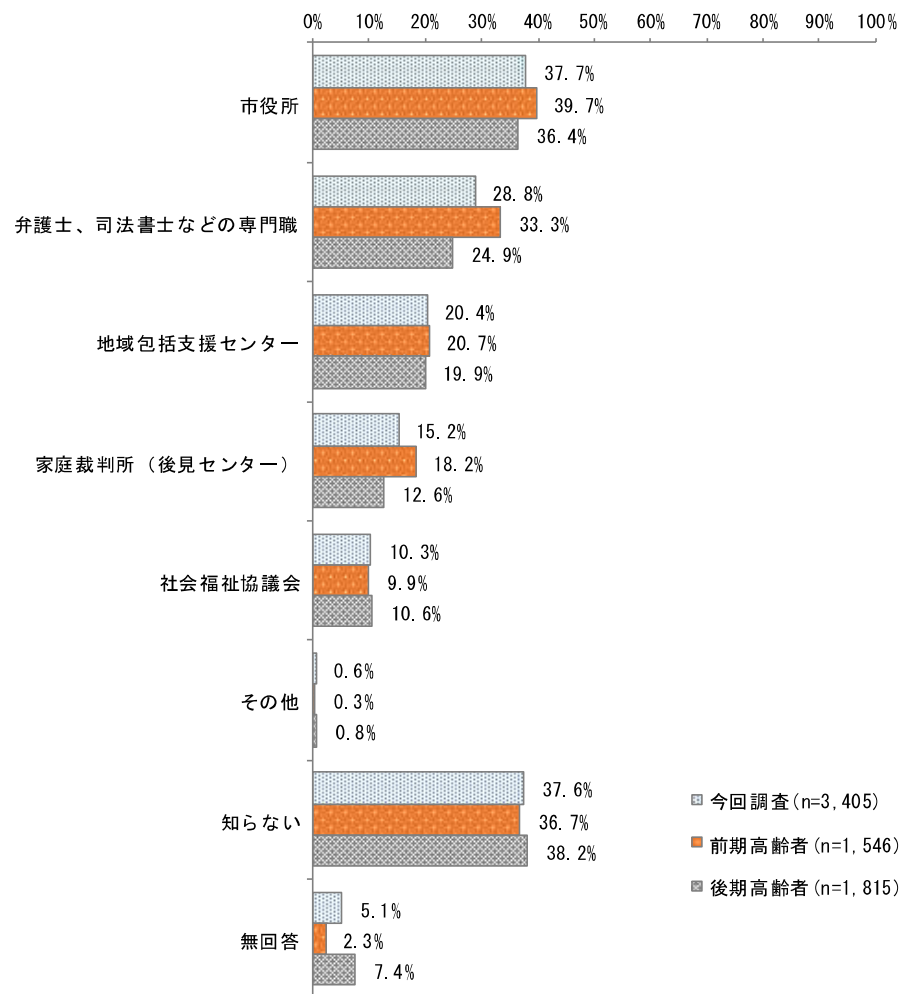
男女別でみると、「知らない」では8.5ポイント男性が女性を上回る。一方で「地域包括支援センター」では6.8ポイント、「弁護士、司法書士などの専門職」では6.2ポイント女性が男性よりも高くなっている。

年代別でみると、「家庭裁判所（後見センター）」では5.6ポイント、「弁護士、司法書士などの専門職」では8.4ポイント前期高齢者が後期高齢者よりも高くなっている。

【成年後見制度に関する相談窓口の認知（男女別）】



【成年後見制度に関する相談窓口の認知（年代別）】



(3)意思判断能力を失った場合に備えて、金銭管理や各種契約手続きを任せられる(任せている)方はどなたですか。(複数選択可)

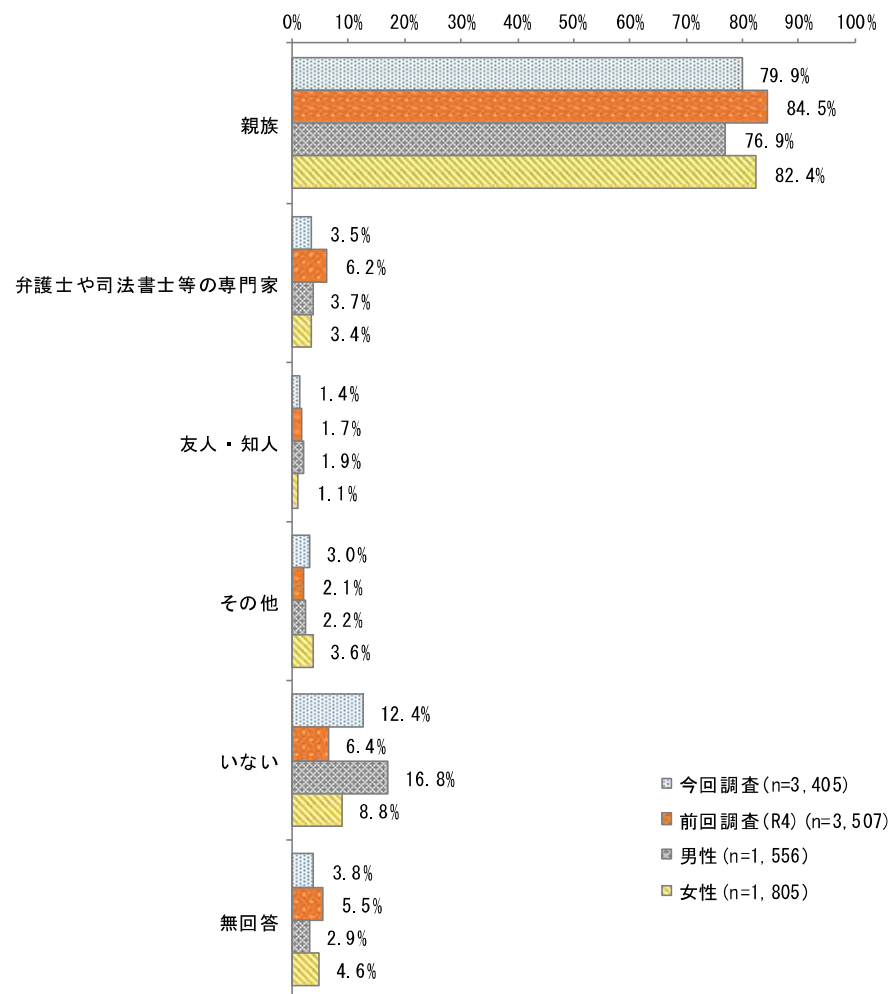
全体では、「親族」79.9%が最も高く、次いで「いない」12.4%、「弁護士や司法書士等の専門家」3.5%となっている。

前回調査と比較すると、「いない」は6.0ポイント増加している。

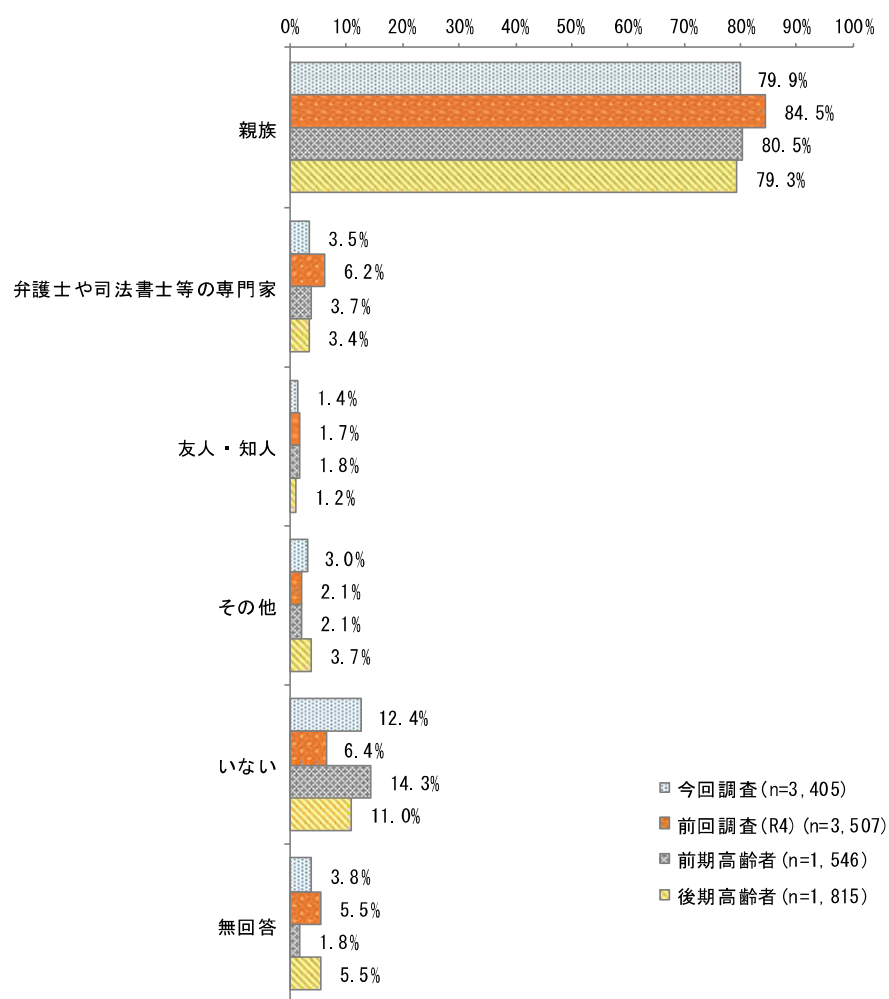
男女別でみると、「いない」では男性が女性を8.0ポイント上回る。

年代別でみると、大きな差異はみられない。

【金銭管理や各種契約手続きを任せられる人（男女別）】



【金銭管理や各種契約手続きを任せられる人（年代別）】



問10 人生会議（アドバンス・ケア・プランニング／ACP）について

(1)あなたが、ご自身の人生の最期を早い段階から考えることについて、どのように思いますか。
(複数選択可)

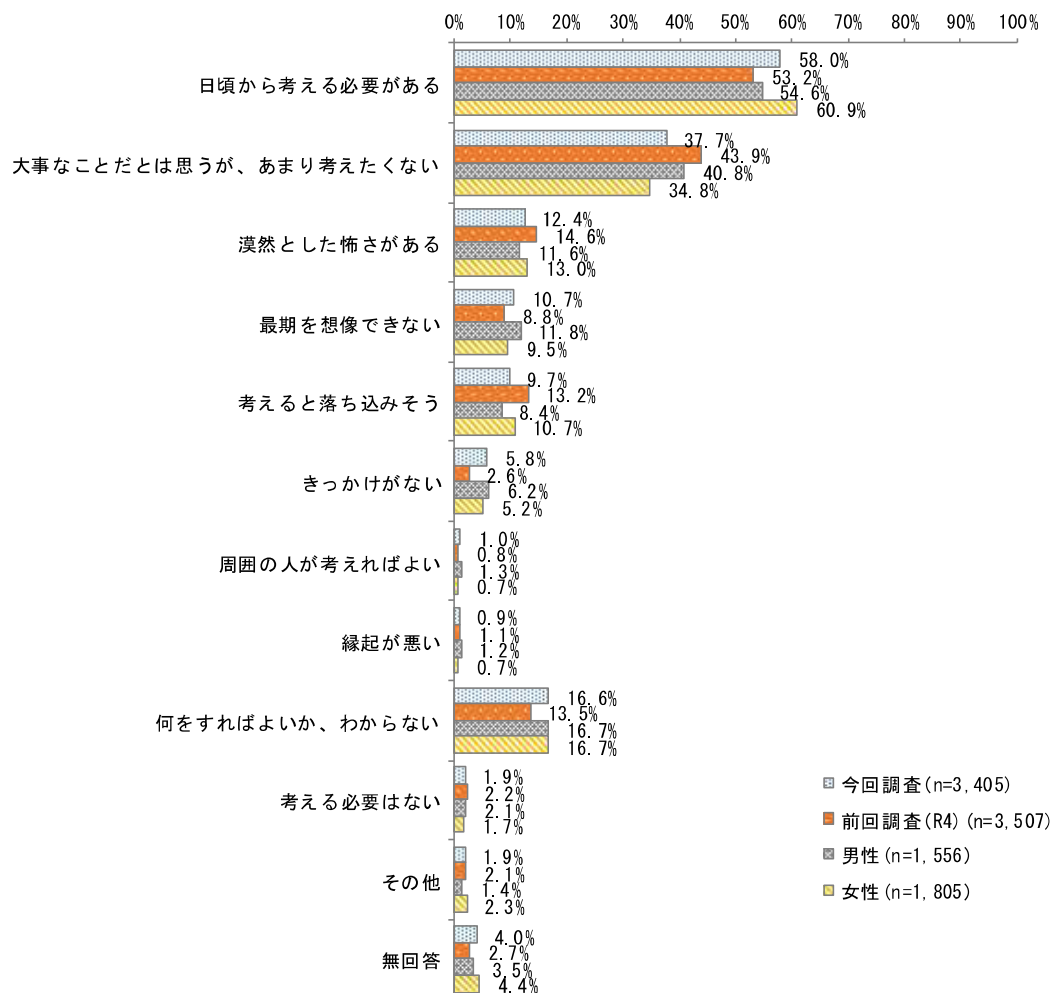
全体では、「日頃から考える必要がある」58.0%が最も高く、次いで「大事なことだとは思いますが、あまり考えたくない」37.7%、「何をすればよいか、わからない」16.6%となっている。

前回調査と比較すると、「大事なことだとは思いますが、あまり考えたくない」は6.2ポイント減少した一方で、「日頃から考える必要がある」は4.8ポイント増加している。

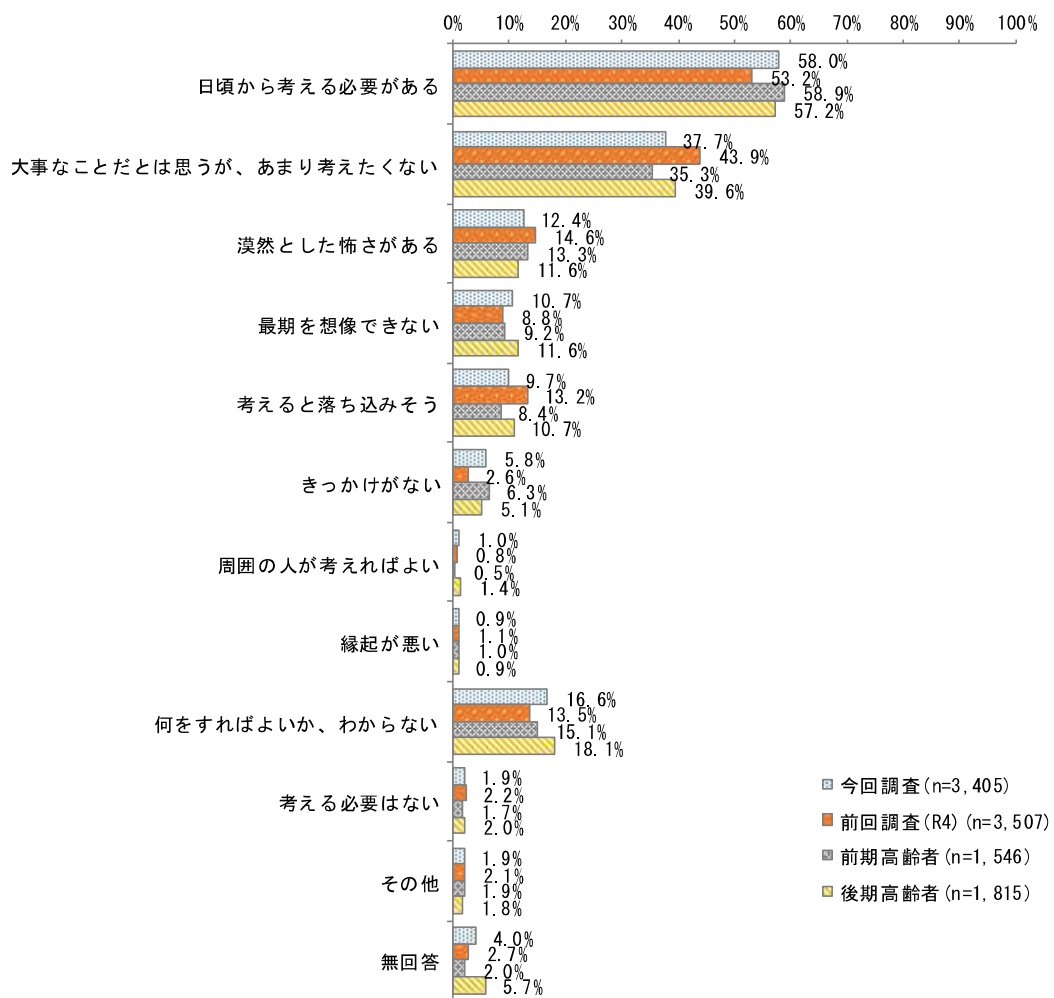
男女別でみると、「大事なことだとは思いますが、あまり考えたくない」では6.0ポイント男性が女性を上回る。一方で、「日頃から考える必要がある」では6.3ポイント女性が男性より高くなっている。

年代別でみると、大きな差異はみられない。

【人生の最期を早い段階から考えることについて（男女別）】



【人生の最期を早い段階から考えることについて（年代別）】



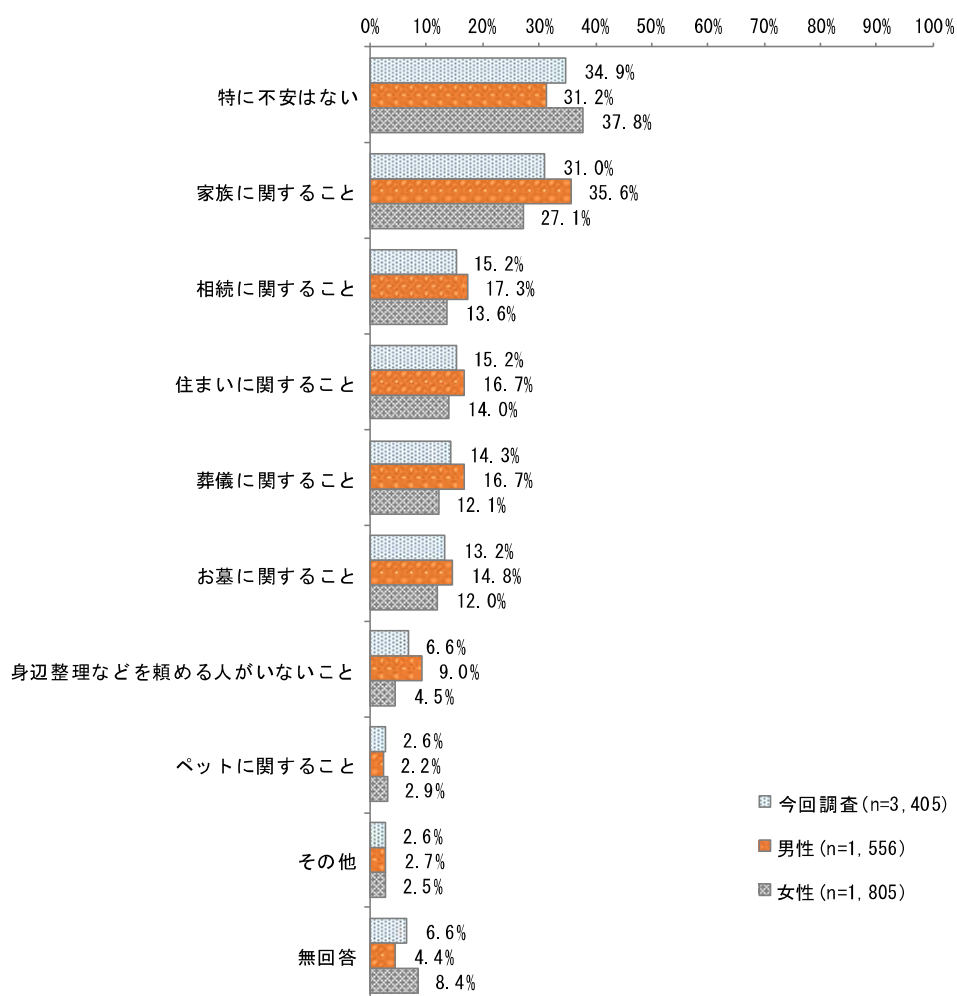
(2)あなたが人生の最終段階を考えたとき、どのようなことが不安ですか。(複数選択可)

全体では、「特に不安はない」34.9%が最も高く、次いで「家族に関すること」31.0%、「相続に関すること」、「住まいに関すること」がいずれも15.2%となっている。

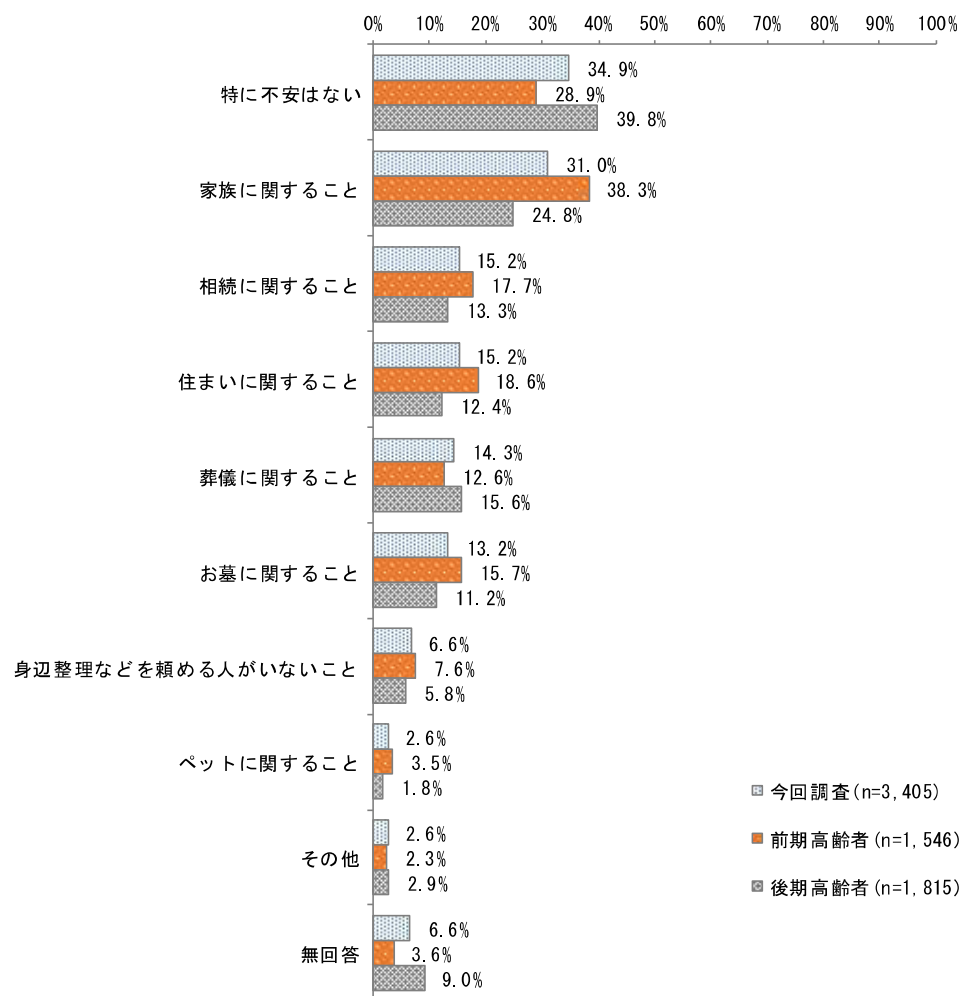
男女別でみると、「家族に関すること」では8.5ポイント男性が女性を上回る。一方で、「特に不安はない」では6.6ポイント女性が男性より高くなっている。

年代別でみると、「特に不安はない」では10.9ポイント後期高齢者が前期高齢者を上回る。一方で、「家族に関すること」では13.5ポイント、「住まいに関すること」では6.2ポイント前期高齢者が後期高齢者より高くなっている。

【人生の最終段階を考えたとき不安なこと（男女別）】



【人生の最終段階を考えたとき不安なこと（年代別）】

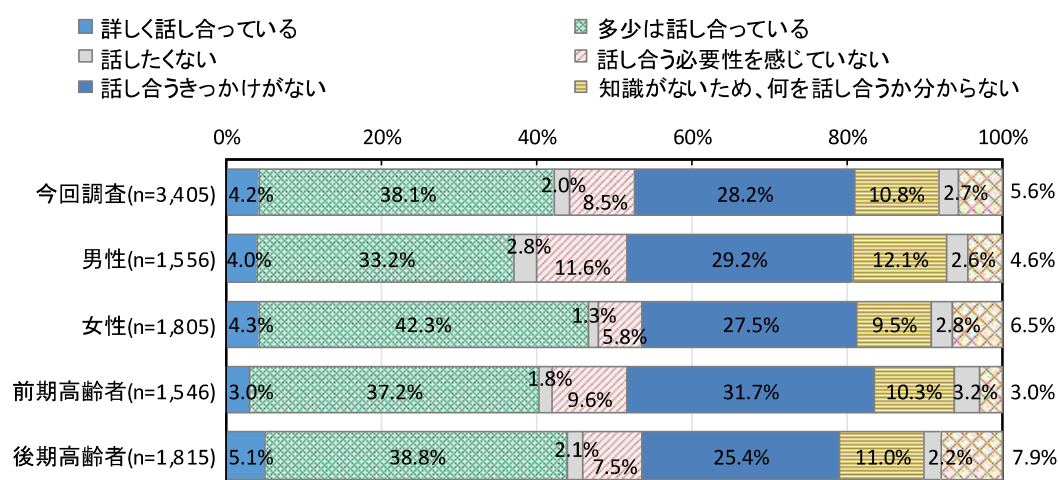


(3)あなたが人生の最終段階で受けない、もしくは、受けない医療・ケアについて、ご家族等や医療・介護従事者と話し合っていますか。(1つを選択)

全体では、「多少は話し合っている」38.1%が最も高く、次いで「話し合うきっかけがない」28.2%、「知識がないため、何を話し合うか分からない」10.8%となっている。『話し合っている』（「詳しく話し合っている」＋「多少は話し合っている」）の割合は42.3%を占める。

男女別でみると、『話し合っている』の割合は男性37.2%、女性46.6%と女性が男性を9.4ポイント上回る。

年代別でみると、『話し合っている』の割合は前期高齢者40.2%、後期高齢者43.9%と後期高齢者がやや高くなっている。



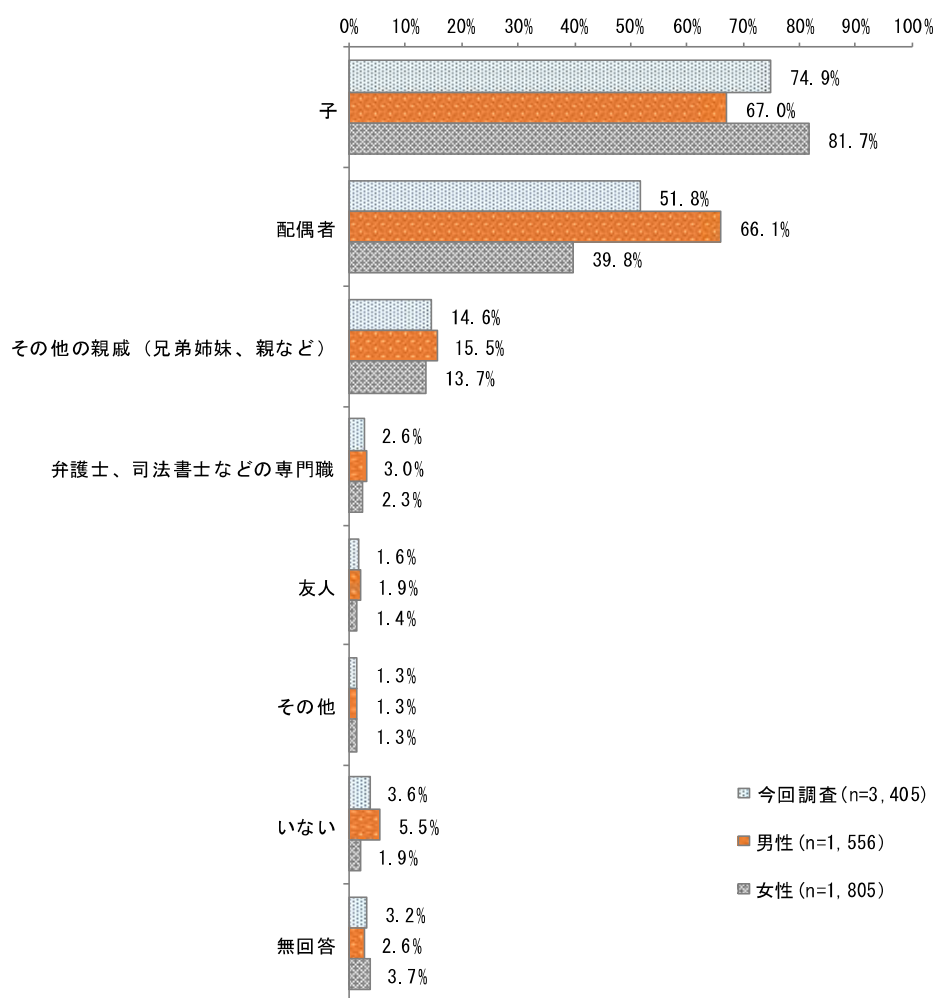
(4)ご自身の死後のことを任せられる人は、どなたですか。(複数選択可)

全体では、「子」74.9%が最も高く、次いで「配偶者」51.8%、「その他の親戚（兄弟姉妹、親など）」14.6%となっている。

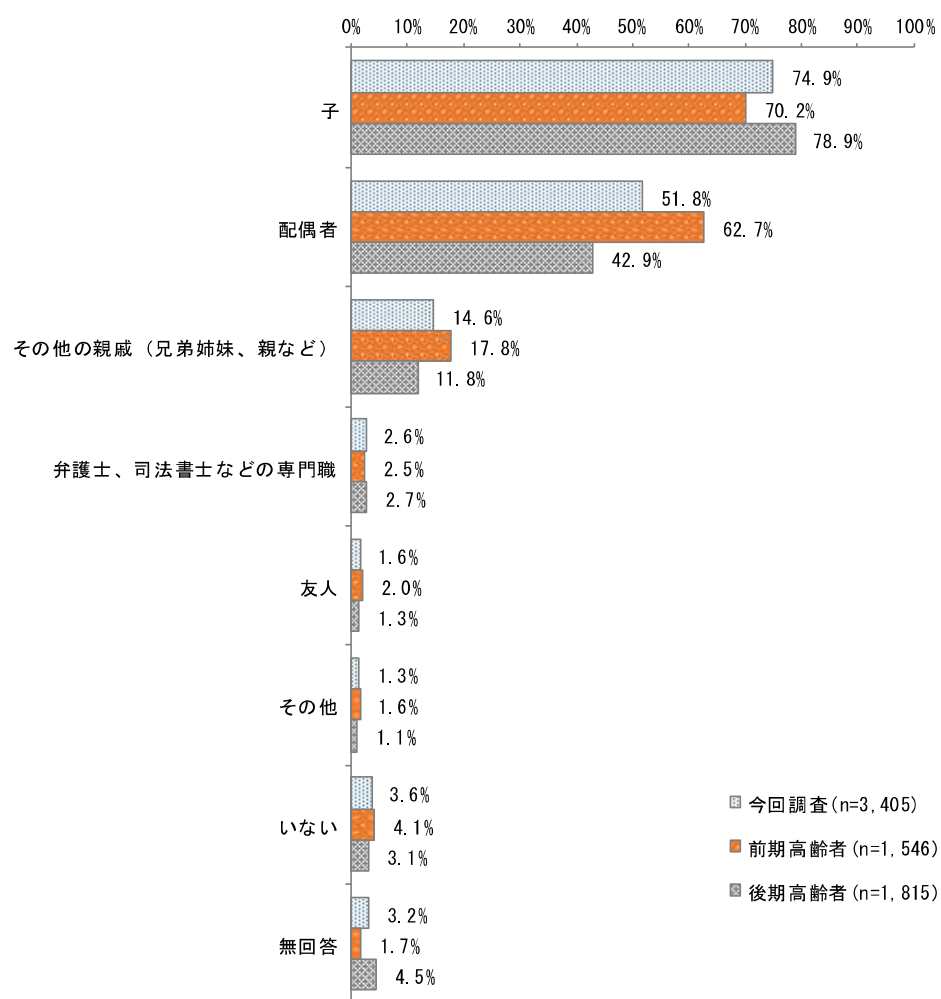
男女別でみると、「子」では14.7ポイント女性が男性を上回る。一方で、「配偶者」では26.3ポイントと男性が女性より高くなっている。

年代別でみると、「子」では8.7ポイント後期高齢者が前期高齢者を上回る。一方で、「配偶者」では19.8ポイント、「その他の親戚（兄弟姉妹、親など）」では6.0ポイント前期高齢者が後期高齢者より高くなっている。

【自身の死後のことを任せられる人（男女別）】



【自身の死後のことを任せられる人（年代別）】



問 1 1 介護予防について

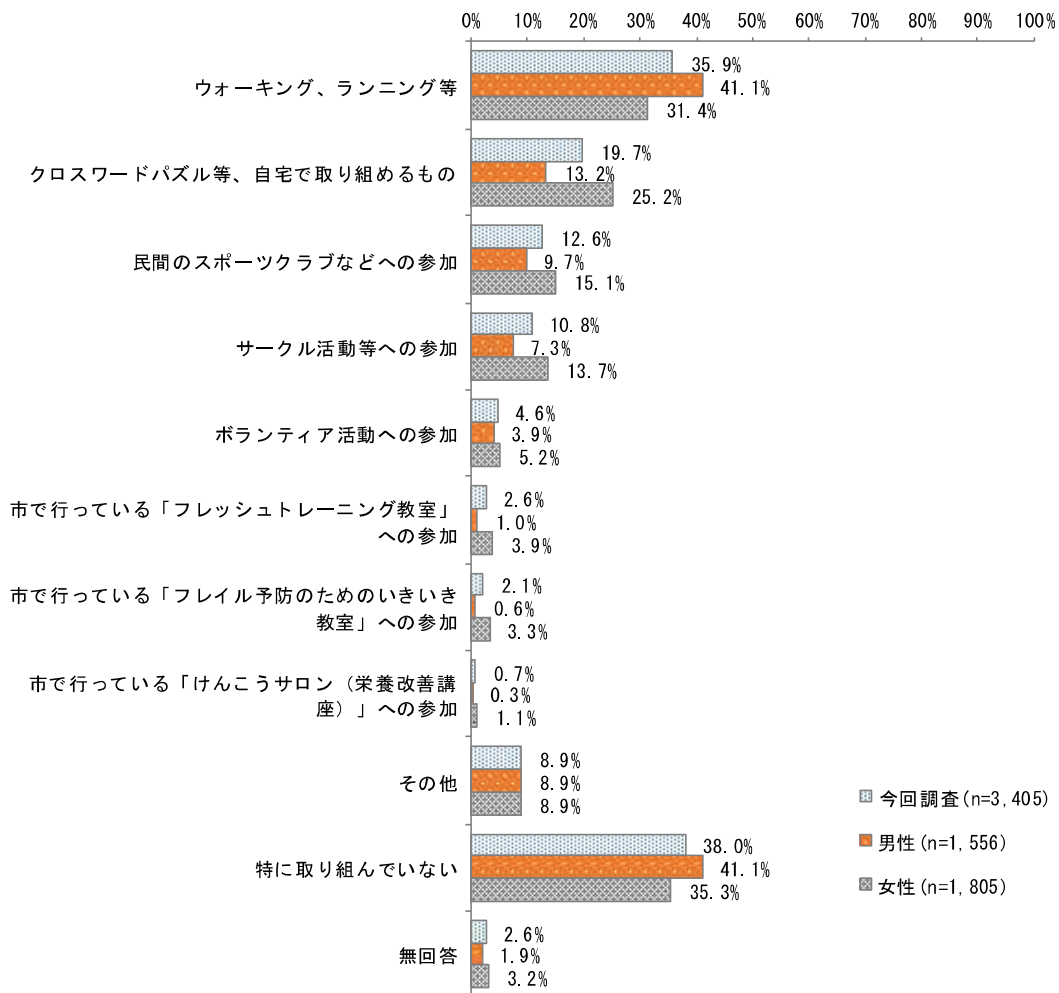
(1)自身で行っている取組はありますか。(複数選択可)

全体では、「特に取り組んでいない」38.0%が最も高く、次いで「ウォーキング、ランニング等」35.9%、「クロスワードパズル等、自宅で取り組めるもの」19.7%となっている。

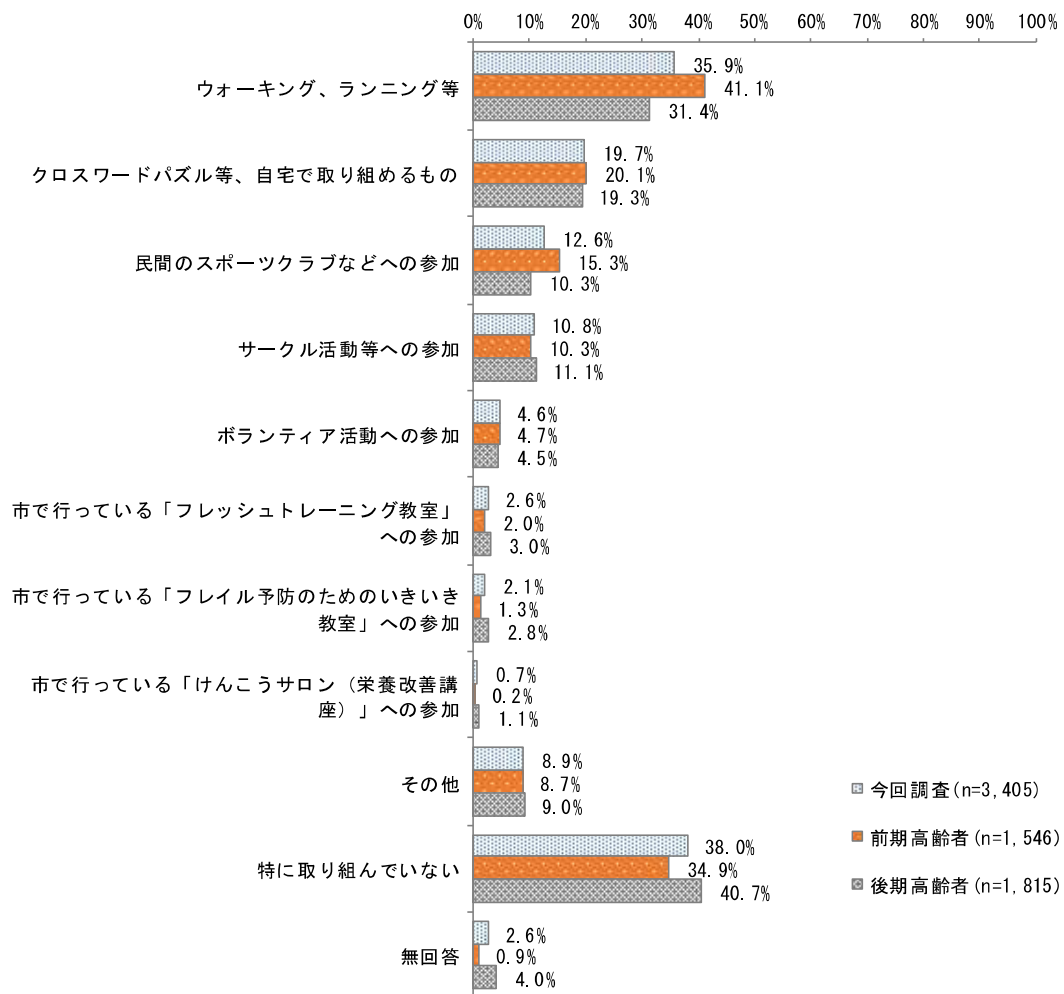
男女別でみると、「特に取り組んでいない」では5.8ポイント、「ウォーキング、ランニング等」では9.7ポイント男性が女性を上回る。一方で、「クロスワードパズル等、自宅で取り組めるもの」では12.0ポイント、「民間のスポーツクラブなどへの参加」では5.4ポイント、「サークル活動等への参加」では6.4ポイント女性が男性より高くなっている。

年代別でみると、「ウォーキング、ランニング等」では9.7ポイント前期高齢者が後期高齢者を上回る。一方で、「特に取り組んでいない」では5.8ポイント後期高齢者が前期高齢者より高くなっている。

【自身で行っている取組（男女別）】



【自身で行っている取組（年代別）】



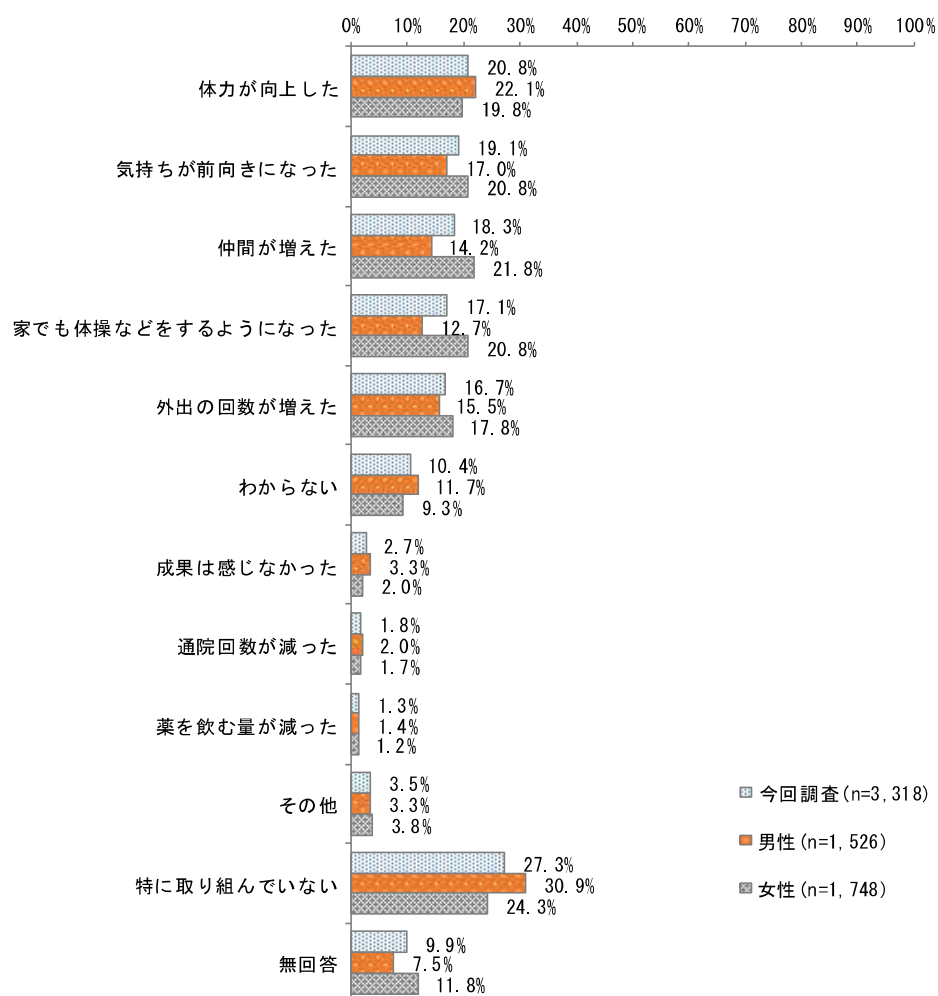
(2) (1)の取組によって、どんな成果や効果がありましたか。(複数選択可)

全体では、「特に取り組んでいない」27.3%が最も高く、次いで「体力が向上した」20.8%、「気持ちが前向きになった」19.1%となっている。

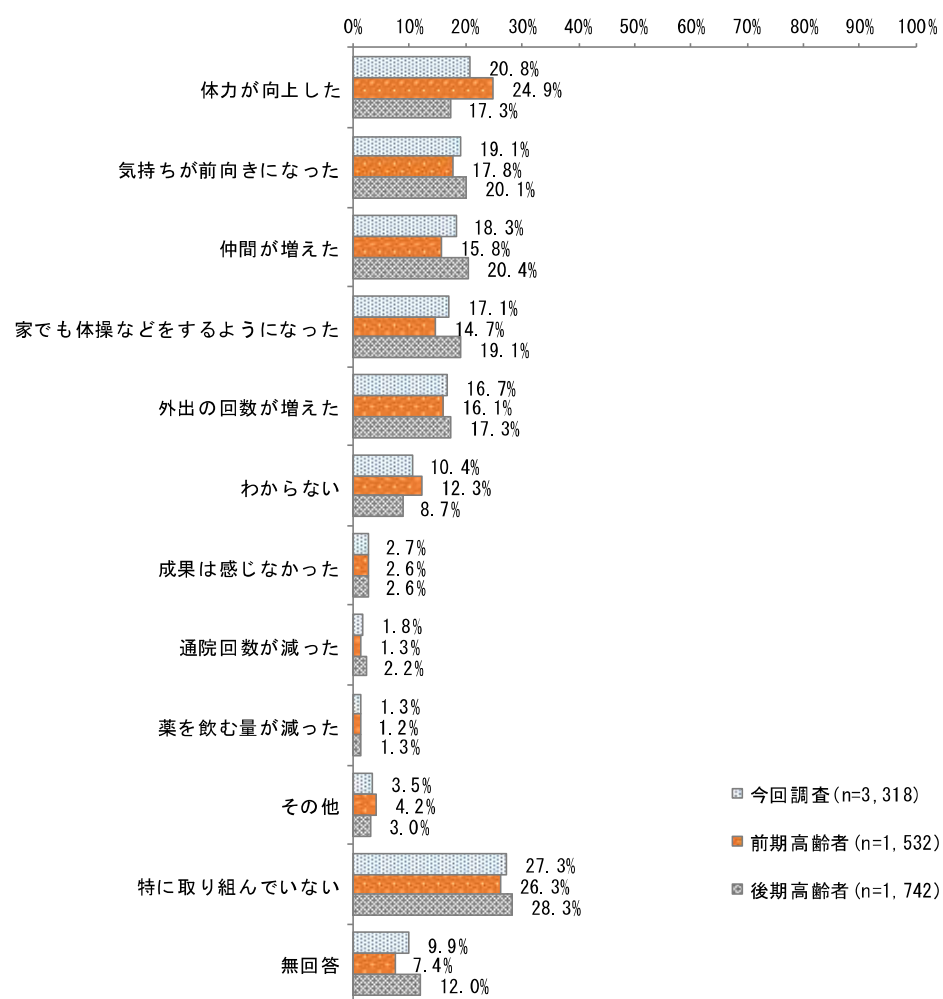
男女別でみると、「特に取り組んでいない」では6.6ポイント男性が女性を上回る。一方で、「仲間が増えた」では7.6ポイント、「家でも体操などをするようになった」では8.1ポイント女性が男性より高くなっている。

年代別でみると、「体力が向上した」では7.6ポイント前期高齢者が後期高齢者より高くなっている。

【自身で行っている取組による成果や効果（男女別）】



【自身で行っている取組による成果や効果（年代別）】



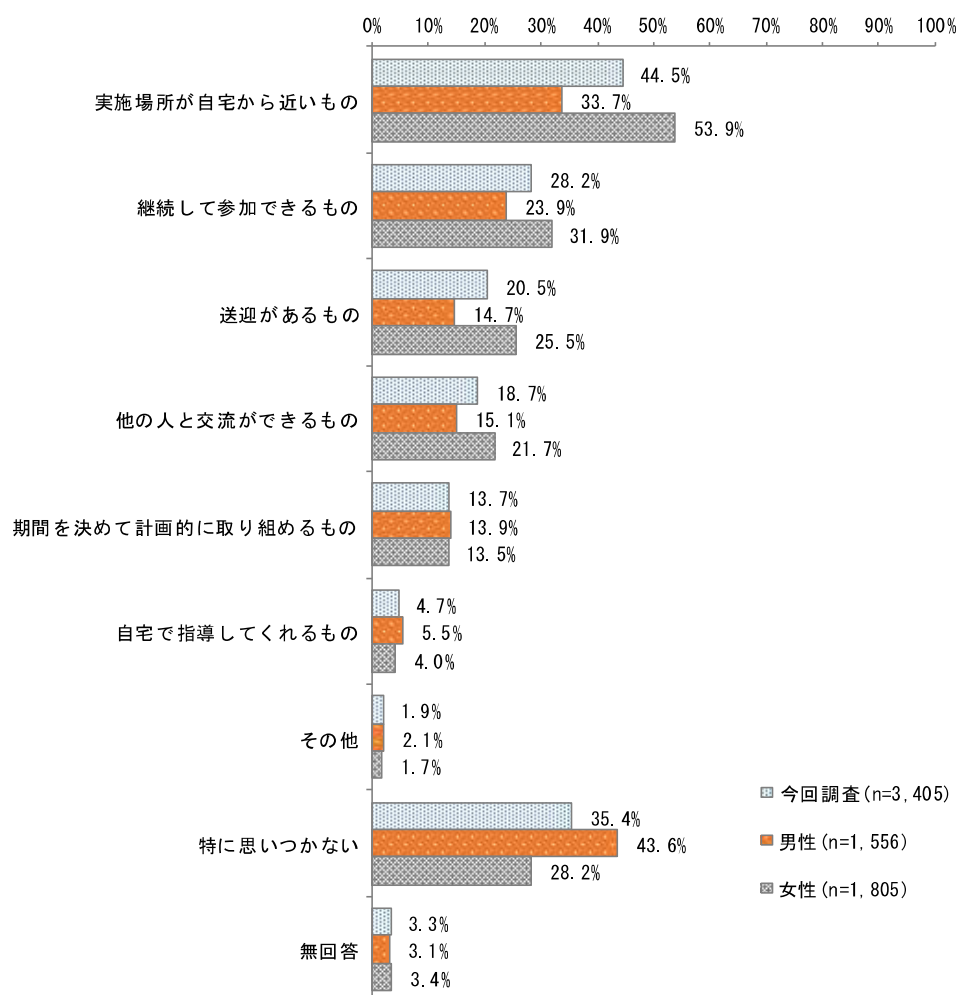
(3)どのような市の介護予防教室であれば、参加したいと思いますか(複数選択可)

全体では、「実施場所が自宅から近いもの」44.5%が最も高く、次いで「特に思いつかない」35.4%、「継続して参加できるもの」28.2%となっている。

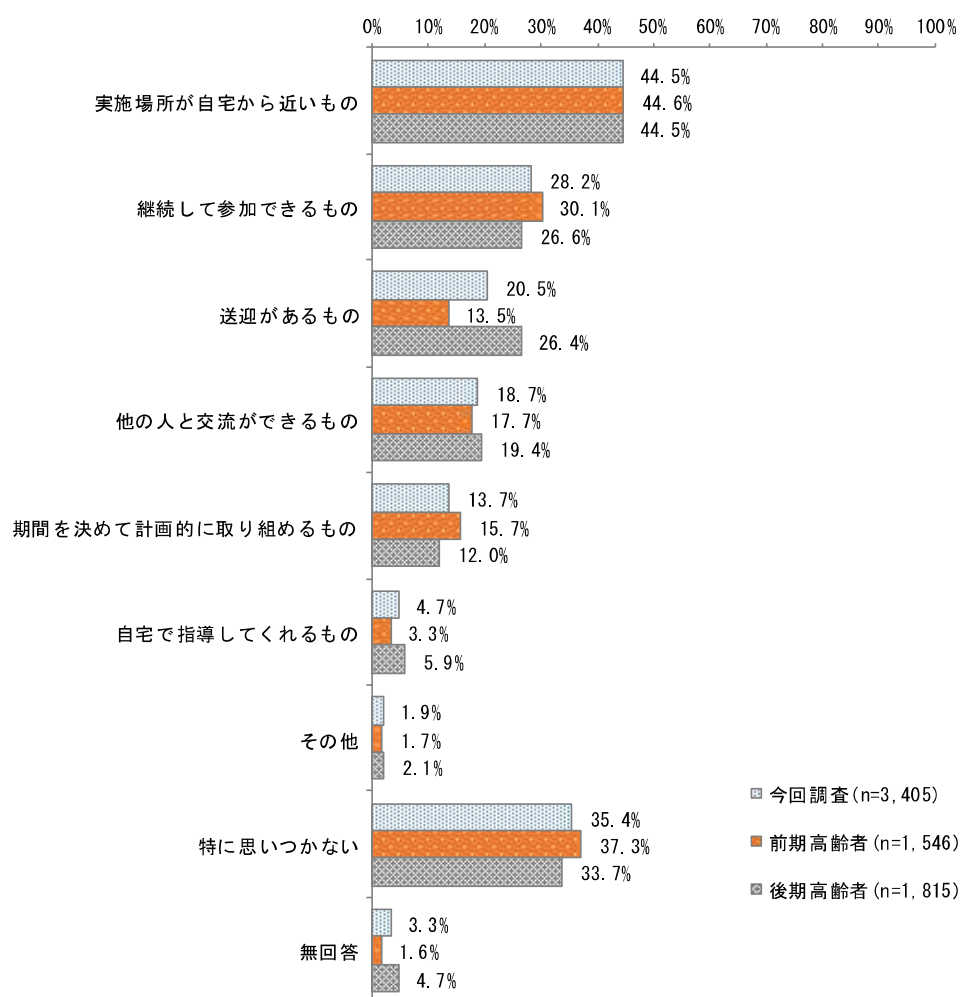
男女別でみると、「実施場所が自宅から近いもの」、「継続して参加できるもの」、「送迎があるもの」、「他の人と交流ができるもの」では女性が男性を上回り、特に「実施場所が自宅から近いもの」は20.2ポイントと大きく上回る。一方で、「特に思いつかない」では15.4ポイント男性が女性より高くなっている。

年代別でみると、「送迎があるもの」では12.9ポイント後期高齢者が前期高齢者より高くなっている。

【どのような介護予防教室であれば参加したいか（男女別）】



【どのような介護予防教室であれば参加したいか（年代別）】

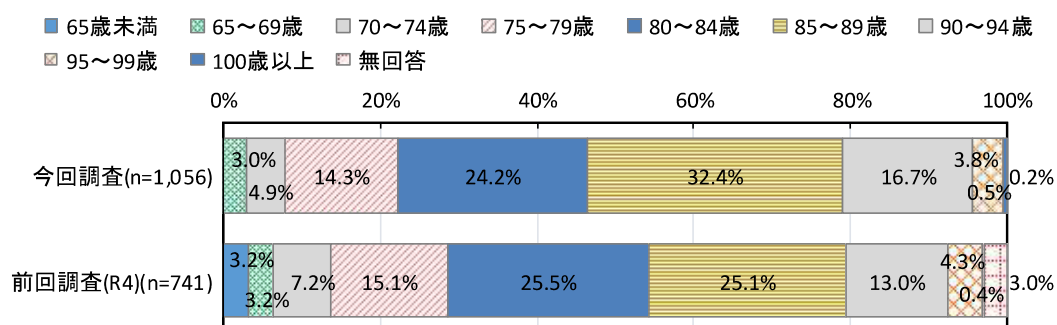


Ⅲ 調査結果【在宅介護実態調査】

【回答者の属性】

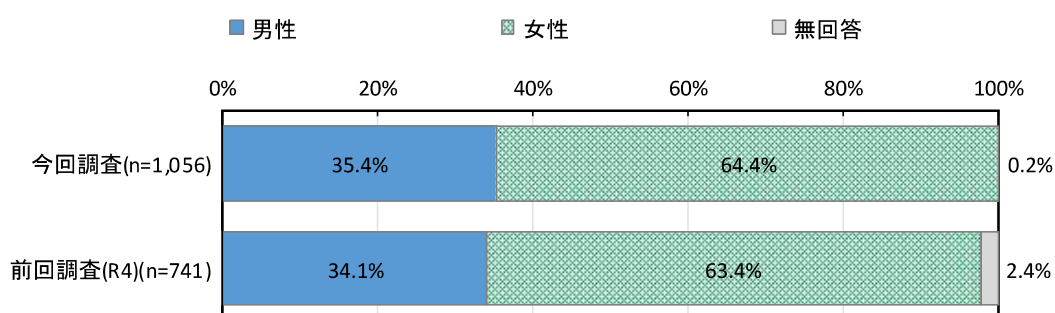
【年齢】

全体では、「85～89歳」32.4%が最も高く、次いで「80～84歳」24.2%、「90～94歳」16.7%となっている。



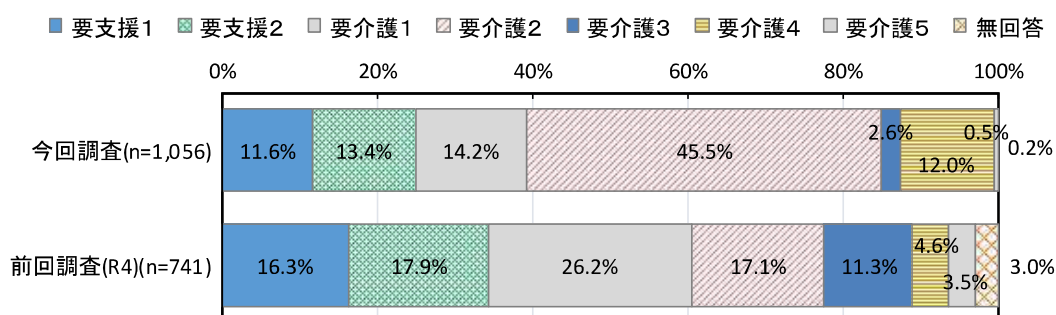
【性別】

全体では、「男性」35.4%、「女性」64.4%となっている。



【要介護度】

全体では、「要介護2」45.5%が最も高く、次いで「要介護1」14.2%、「要支援2」13.4%となっている。

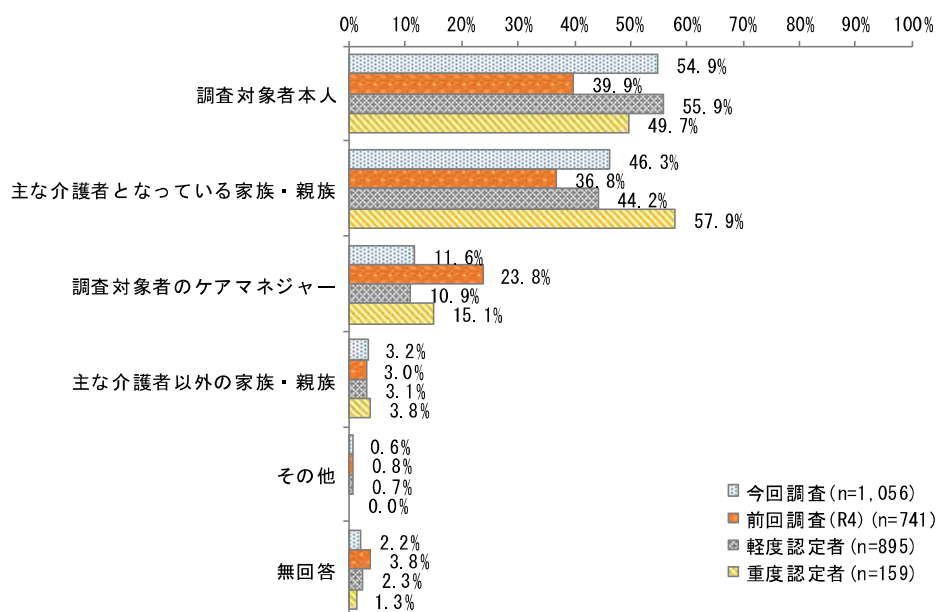


A票（対象者：介護を受けている方）

【A票を、ご回答いただく方は、どなたですか】 【複数選択可】

全体では、「調査対象者本人」54.9%が最も高く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」46.3%、「調査対象者のケアマネジャー」11.6%となっている。

要介護度別でみると、軽度認定者では「調査対象者本人」、重度認定者では「主な介護者となっている家族・親族」が最も高くなっている。

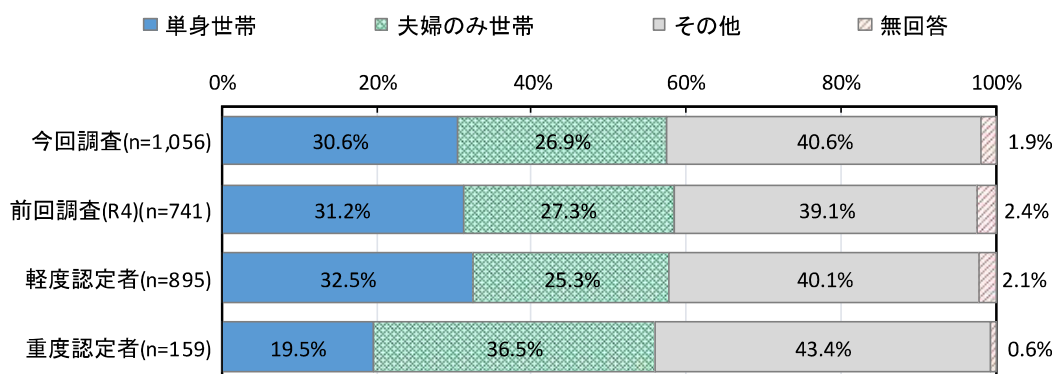


問1 世帯類型について、ご回答ください【1つを選択】

全体では、「その他」40.6%が最も高く、次いで「単身世帯」30.6%、「夫婦のみ世帯」26.9%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

要介護度別でみると、「単身世帯」では軽度認定者が重度認定者を13.0ポイント上回る。

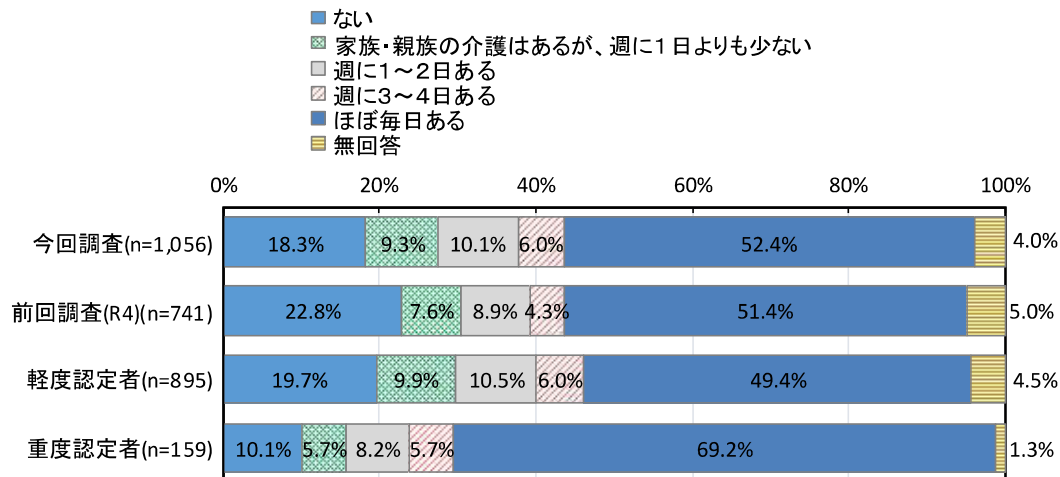


問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)【1つを選択】

全体では、「ほぼ毎日ある」52.4%が最も高く、次いで「ない」18.3%、「週に1～2日ある」10.1%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

要介護度別でみると、「ほぼ毎日ある」では重度認定者が軽度認定者を19.8ポイントと大きく上回り、69.2%を占めている。

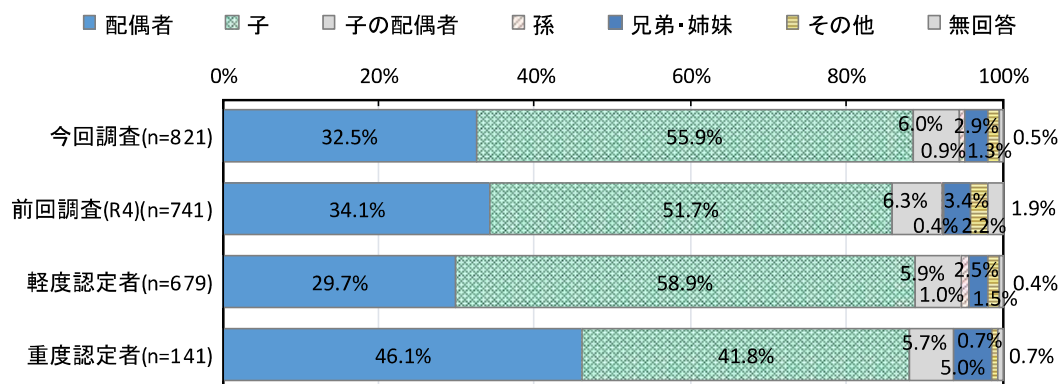


問3 主な介護者の方は、どなたですか【1つを選択】

全体では、「子」55.9%が最も高く、次いで「配偶者」32.5%、「子の配偶者」6.0%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

要介護度別でみると、「配偶者」では重度認定者が軽度認定者を16.4ポイントと大きく上回り、46.1%を占めている。

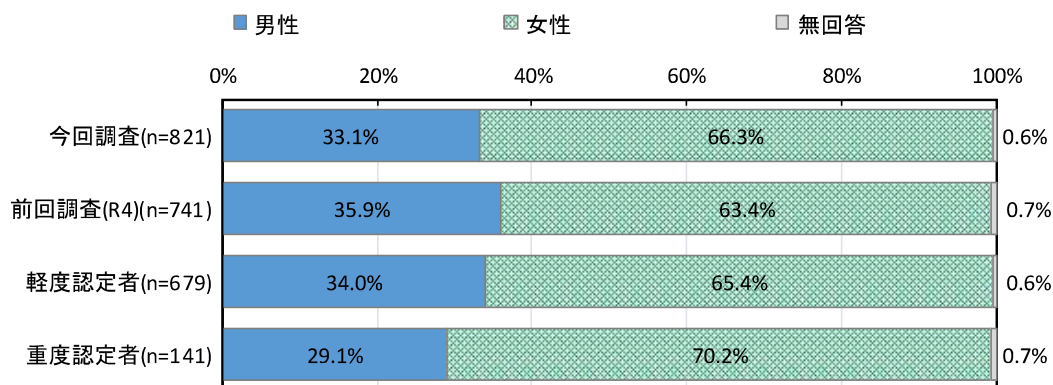


問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください【1つを選択】

全体では、「男性」33.1%、「女性」66.3%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

要介護度別でみると、「男性」では軽度認定者が重度認定者を4.9ポイント上回る。

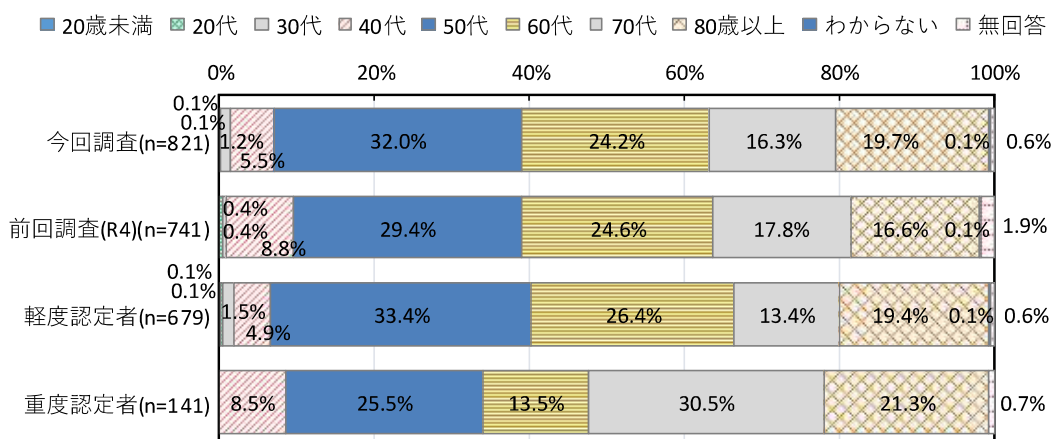


問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください【1つを選択】

全体では、「50代」32.0%が最も高く、次いで「60代」24.2%、「80歳以上」19.7%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

要介護度別でみると、「70代」では重度認定者が軽度認定者を17.1ポイントと大きく上回り、30.5%を占めている。

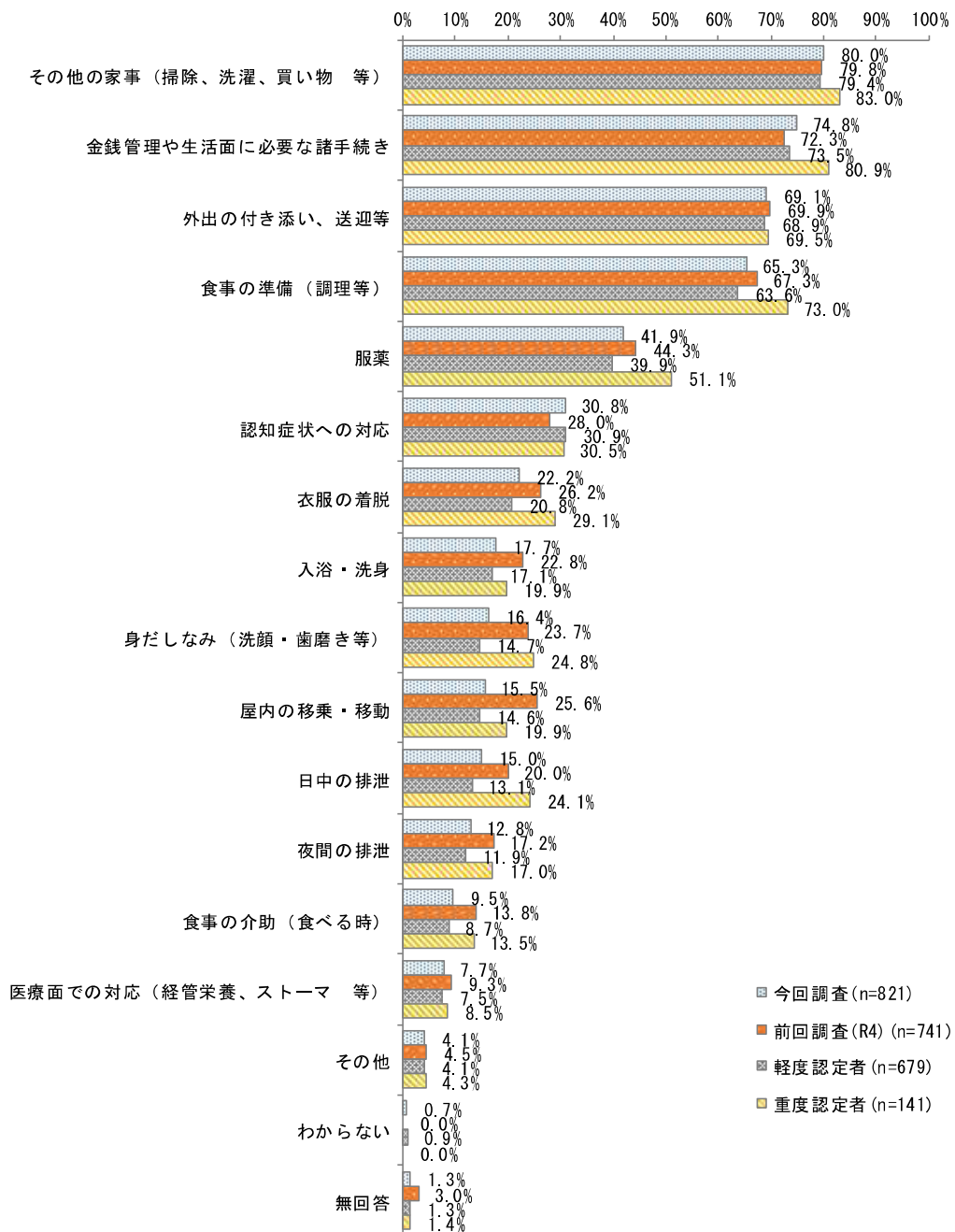


問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください【複数選択可】

全体では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」80.0%が最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」74.8%、「外出の付き添い、送迎等」69.1%となっている。

前回調査と比較すると、「入浴・洗身」では5.1ポイント、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」では7.3ポイント、「屋内の移乗・移動」では10.1ポイント、「日中の排泄」では5.0ポイント減少している。

要介護度別でみると、「認知症状への対応」、「わからない」を除く全ての項目で重度認定者が軽度認定者を上回り、特に「服薬」では11.2ポイント、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」では10.1ポイント、「日中の排泄」では11.0ポイント高くなっている。

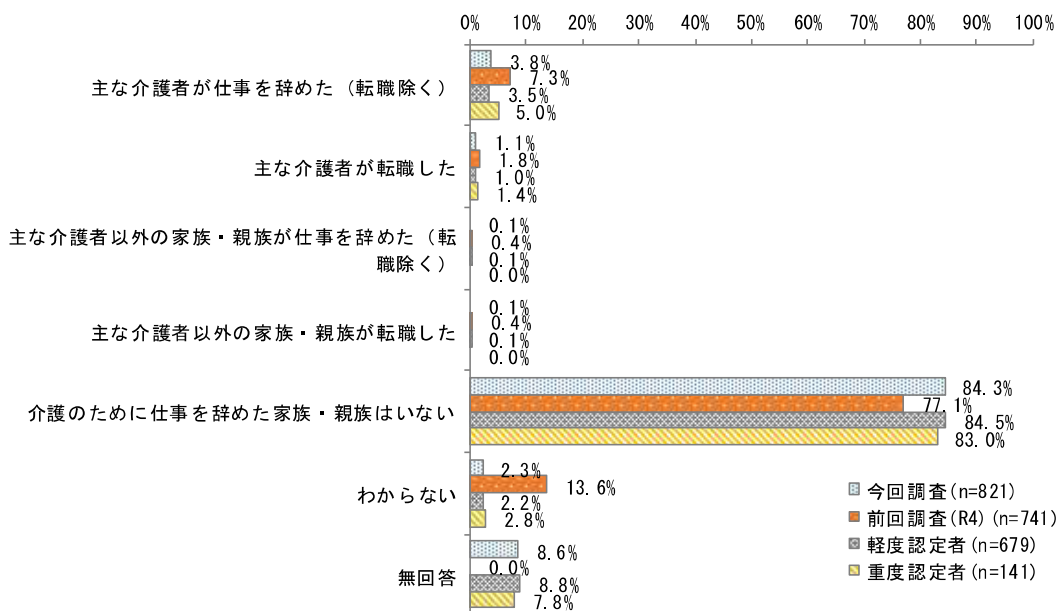


**問7 ご家族やご親族の中で、ご本人(調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)
【複数選択可】**

全体では、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」84.3%が最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」3.8%、「わからない」2.3%となっている。

前回調査と比較すると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」は7.2ポイント増加している。

要介護度別でみると、大きな差異はみられない。

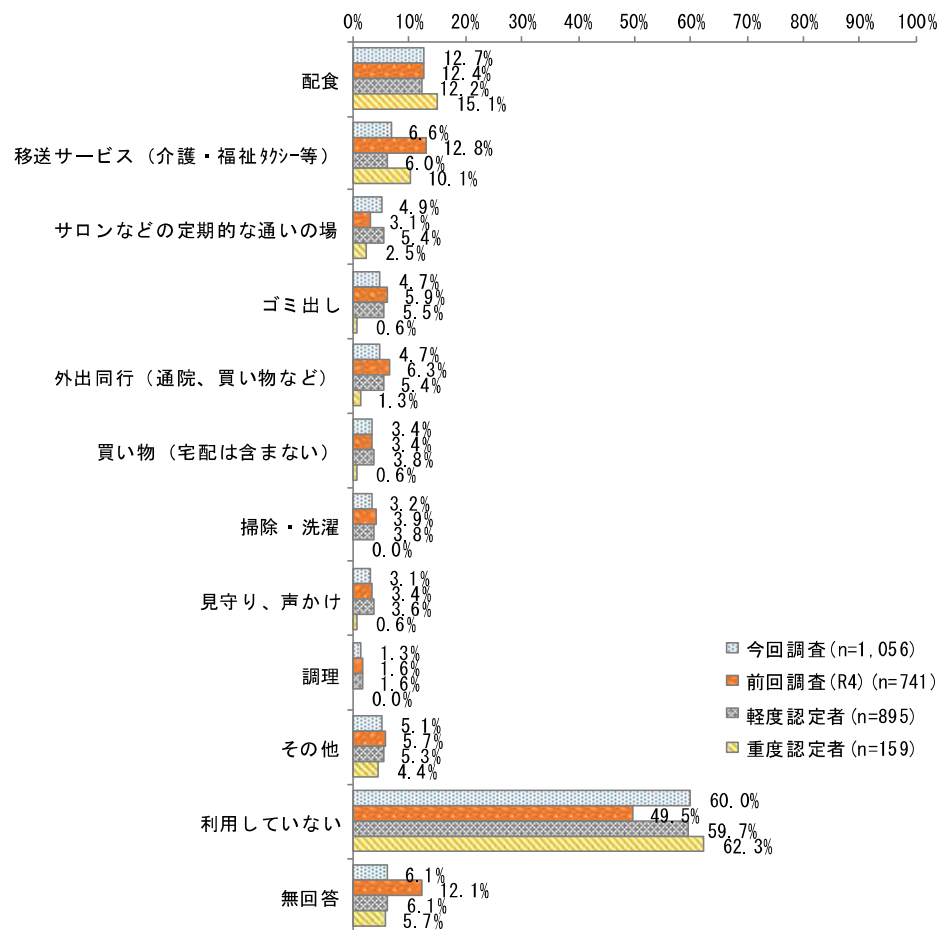


問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください
【複数選択可】

全体では、「利用していない」60.0%が最も高く、次いで「配食」12.7%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」6.6%となっている。

前回調査と比較すると、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」は6.2ポイント減少した一方で、「利用していない」は10.5ポイント増加している。

要介護度別でみると、大きな差異はみられない。

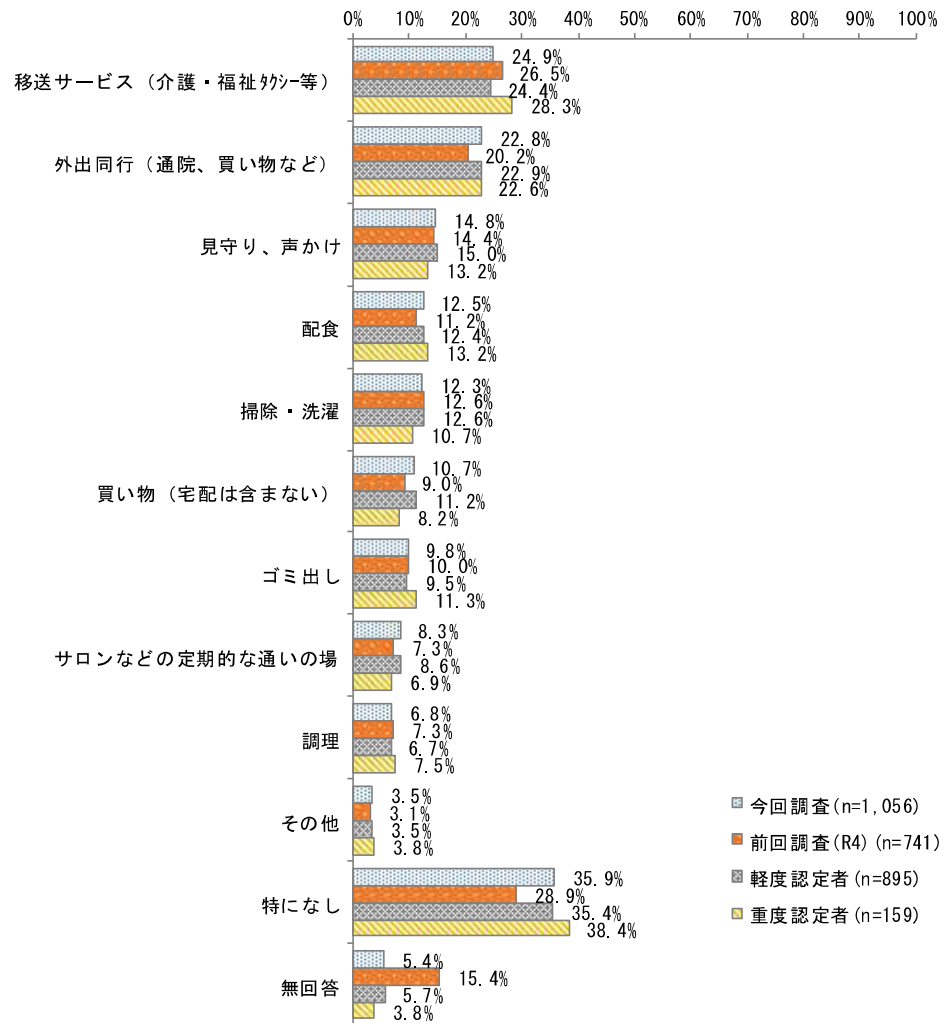


問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください【複数選択可】

全体では、「特になし」35.9%が最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」24.9%、「外出同行（通院、買い物など）」22.8%となっている。

前回調査と比較すると、「特になし」は7.0ポイント増加している。

要介護度別でみると、大きな差異はみられない。

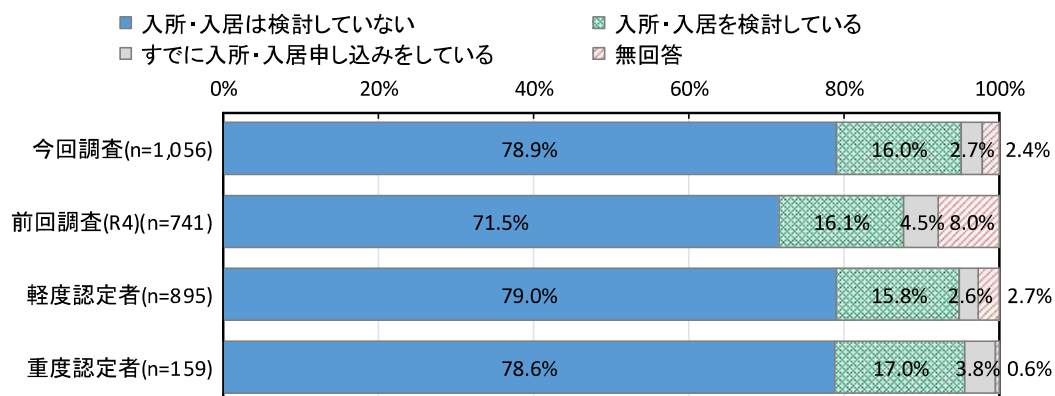


問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください【1つを選択】

全体では、「入所・入居は検討していない」78.9%が最も高く、次いで「入所・入居を検討している」16.0%、「すでに入所・入居申し込みをしている」2.7%となっている。

前回調査と比較すると、「入所・入居は検討していない」は7.4ポイント増加している。

要介護度別でみると、大きな差異はみられない。

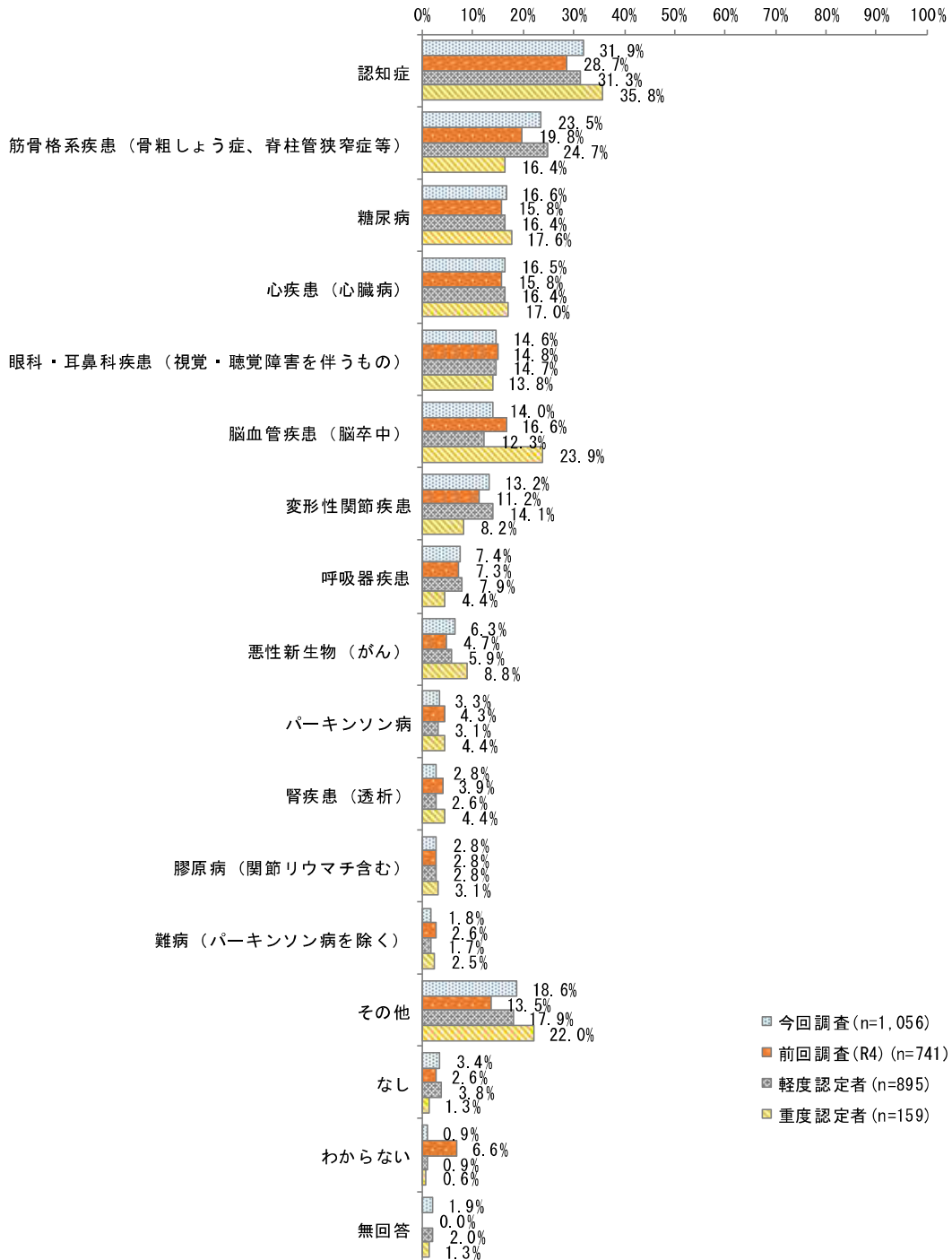


問11 ご本人(調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください【複数選択可】

全体では、「認知症」31.9%が最も高く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」23.5%、「その他」18.6%となっている。

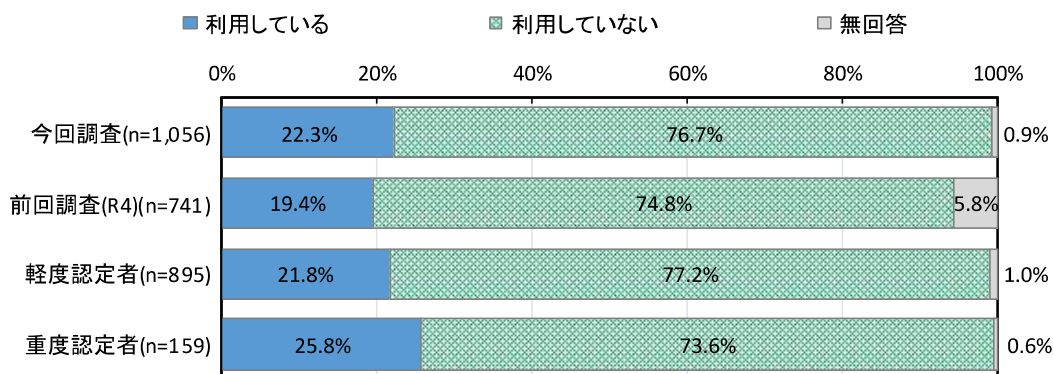
前回調査と比較すると、「その他」は5.1ポイント増加している。

要介護度別でみると、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」では8.3ポイント、「変形性関節疾患」では5.9ポイント軽度認定者が重度認定者を上回る。一方で、「脳血管疾患（脳卒中）」では重度認定者が軽度認定者より11.6ポイント高くなっている。



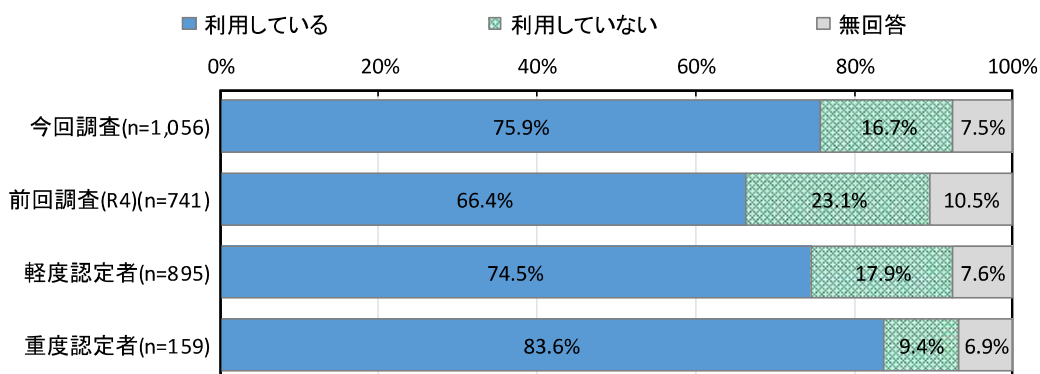
問12 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか【1つを選択】

全体では、「利用している」22.3%、「利用していない」76.7%となっている。
 前回調査、要介護度別で比較して大きな差異はみられない。



問13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか【1つを選択】

全体では、「利用している」75.9%、「利用していない」16.7%となっている。
 前回調査と比較すると、「利用している」は9.5ポイント増加している。
 要介護度別でみると、「利用している」では重度認定者が軽度認定者を9.1ポイント上回る。



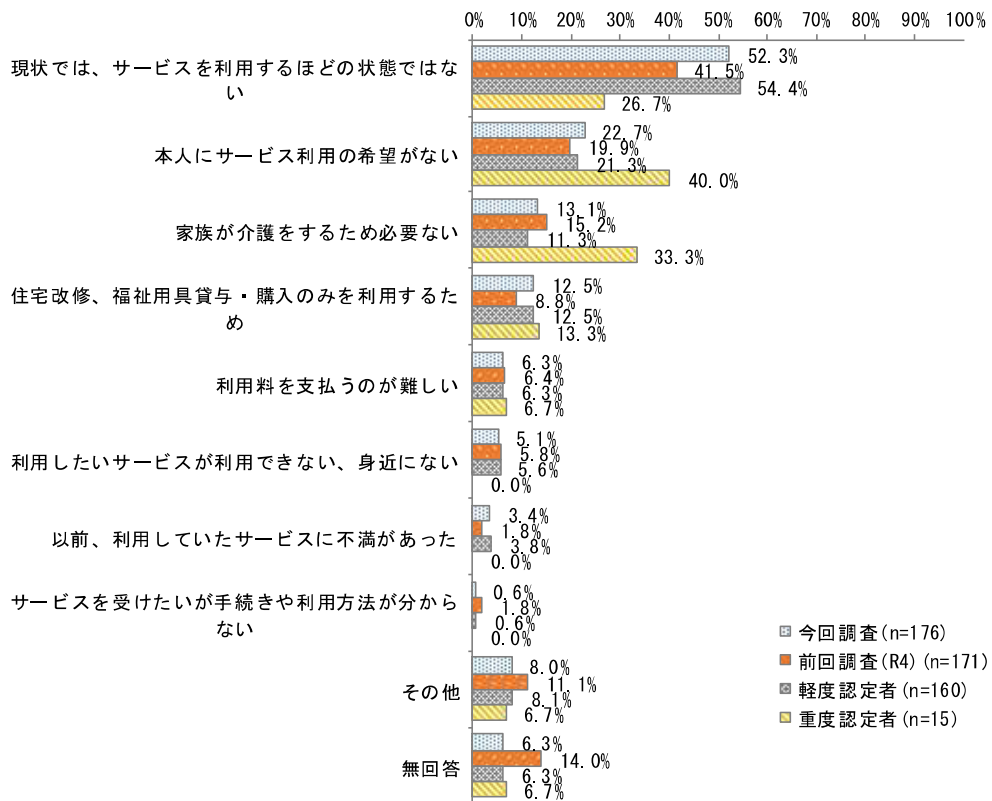
問14 【問13で「2.」を回答した場合は、問14もお答えください。】

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか【複数選択可】

全体では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」52.3%が最も高く、次いで「本人にサービスの利用の希望がない」22.7%、「家族が介護をするため必要ない」13.1%となっている。

前回調査と比較すると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」は10.8ポイント増加している。

要介護度別でみると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」は軽度認定者が重度認定者を27.7ポイントと大きく上回る。一方で、「本人にサービスの利用の希望がない」では18.7ポイント、「家族が介護をするため必要ない」では22.0ポイント重度認定者が軽度認定者より高くなっている。



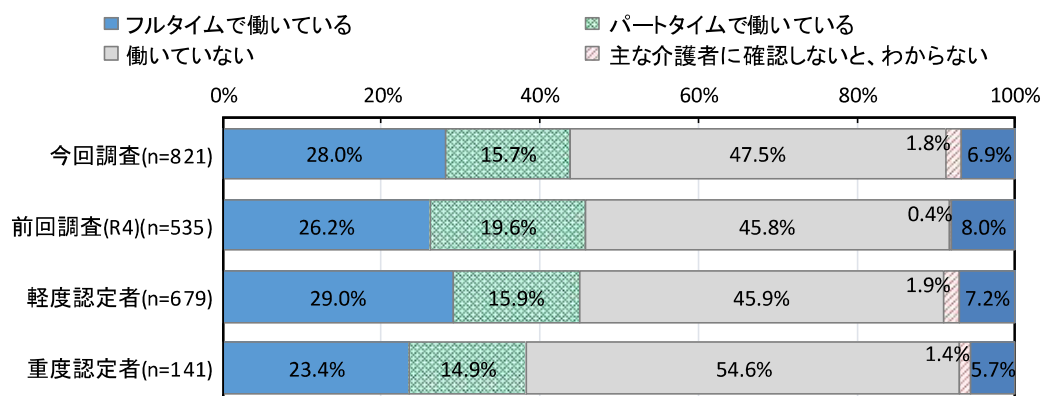
B票（対象者：介護をしている家族、親族）

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください【1つを選択】

全体では、「働いていない」47.5%が最も高く、次いで「フルタイムで働いている」28.0%、「パートタイムで働いている」15.7%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

要介護度別でみると、「働いていない」では重度認定者が軽度認定者を8.7ポイント上回り、54.6%を占めている。

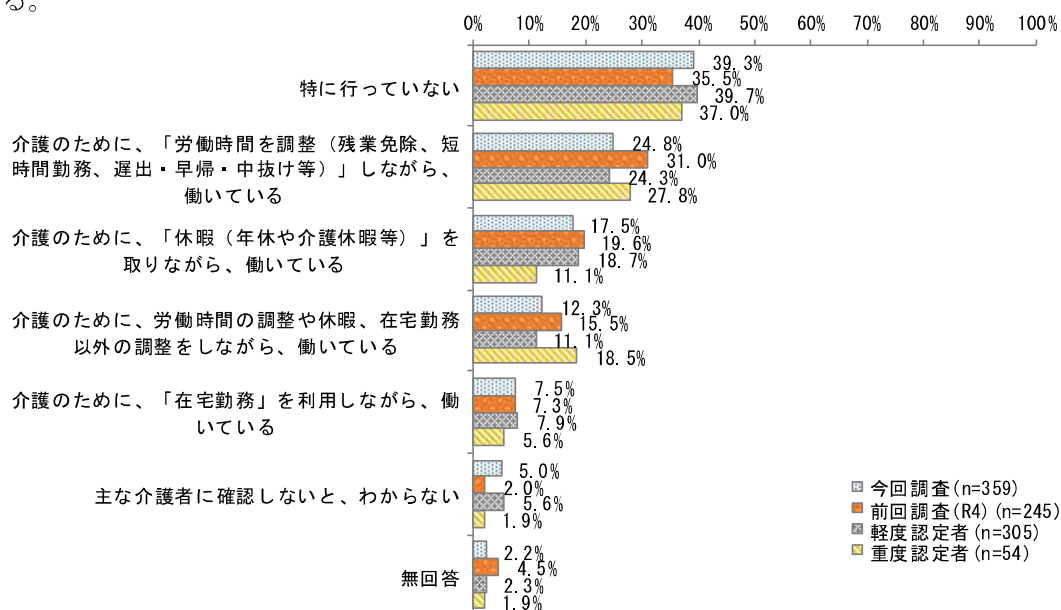


問2 【問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。】 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか【複数選択可】

全体では、「特に行っていない」39.3%が最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出、早帰、中抜け等）」しながら、働いている」24.8%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」17.5%となっている。

前回調査と比較すると、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出、早帰、中抜け等）」しながら、働いている」は6.2ポイント減少している。

要介護度別でみると、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」では軽度認定者が重度認定者を7.6ポイント上回る一方で、「介護のために、労働時間の調整や休暇、在宅勤務以外の調整をしながら働いている」では重度認定者が軽度認定者より7.4ポイント高くなっている。



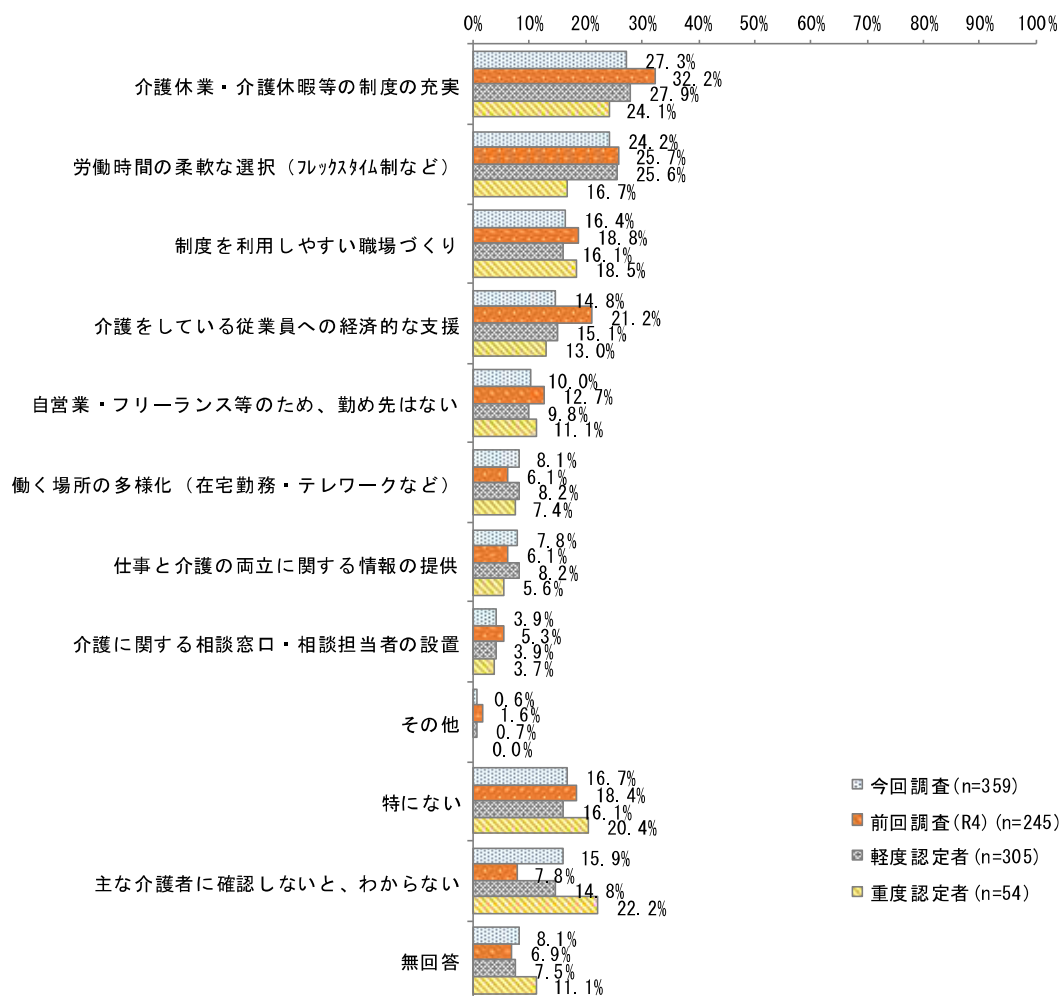
問3 【問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。】

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか【3つまで選択可】

全体では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」27.3%が最も高く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」24.2%、「特にない」16.7%となっている。

前回調査と比較すると、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」は4.9ポイント、「介護をしている従業員への経済的な支援」は6.4ポイント減少した一方で、「主な介護者に確認しないと、わからない」は8.1ポイント増加している。

要介護度別でみると、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」では軽度認定者が重度認定者を8.9ポイント上回る。



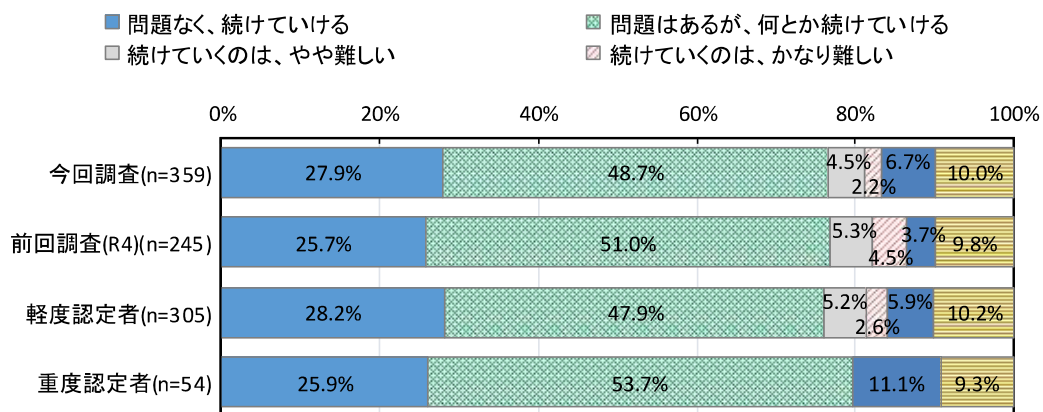
問4 【問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。】

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか【1つを選択】

全体では、「問題はあるが、何とか続けていける」48.7%が最も高く、次いで「問題なく、続けていける」27.9%、「主な介護者に確認しないと、わからない」6.7%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

要介護度別でみると、「問題はあるが、何とか続けていける」は重度認定者が軽度認定者を5.8ポイント上回る。

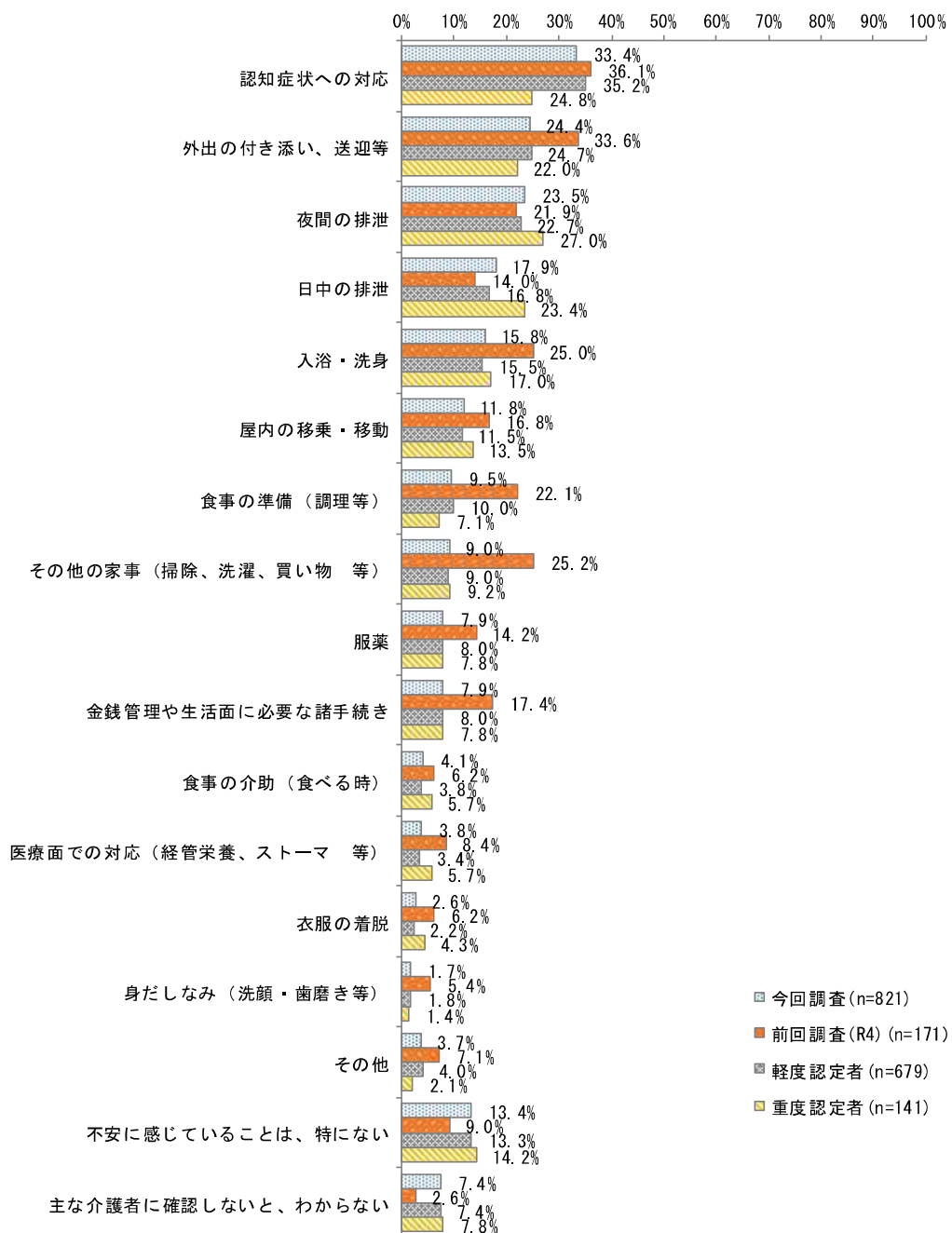


問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)【3つまで選択可】

全体では、「認知症状への対応」33.4%が最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」24.4%、「夜間の排泄」23.5%となっている。

前回調査と比較すると、「夜間の排泄」、「日中の排泄」、「不安に感じていることは、特にない」、「主な介護者に確認しないと、わからない」を除く全ての項目で減少しており、特に「食事の準備（調理等）」では12.6ポイント、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」では16.2ポイント減少している。

要介護度別でみると、「認知症状への対応」では軽度認定者が重度認定者を10.4ポイント上回る。一方で、「日中の排泄」では重度認定者が軽度認定者より6.6ポイント高くなっている。

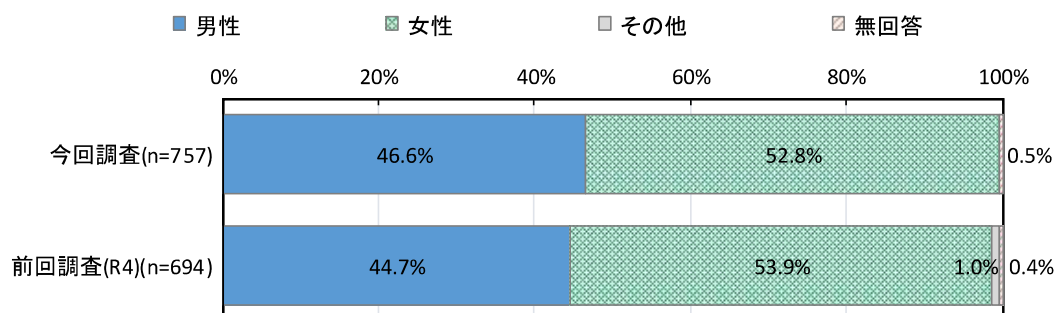


IV 調査結果【介護保険第2号被保険者】

【回答者の属性】

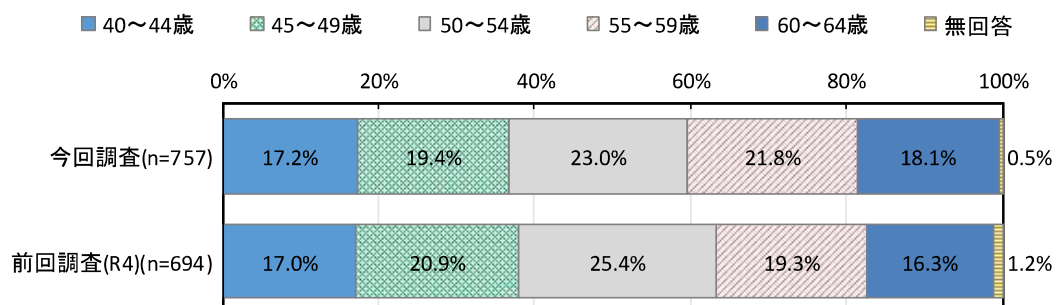
【性別】

全体では、「男性」46.6%、「女性」52.8%となっている。



【年齢】

全体では、「50～54 歳」23.0%が最も高く、次いで「55～59 歳」21.8%、「45～49 歳」19.4%となっている。



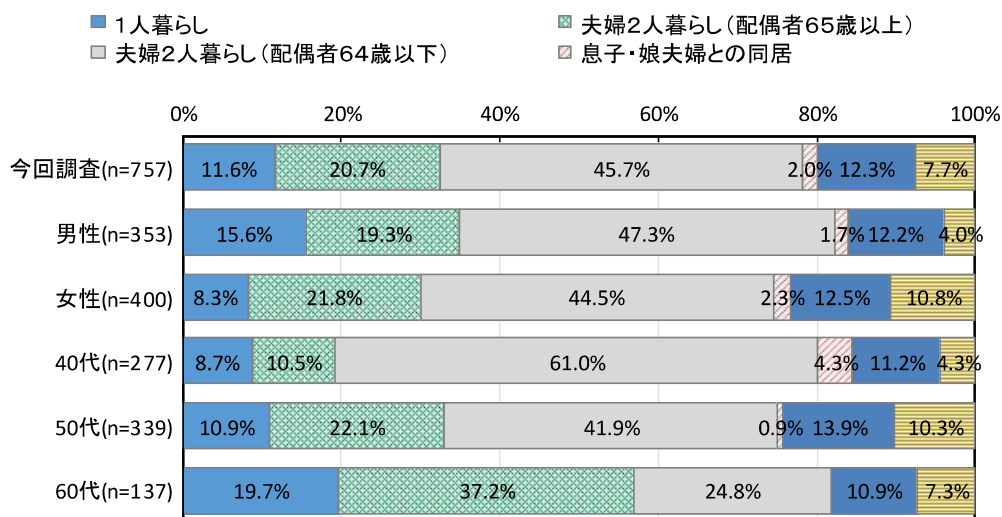
問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成についてお答えください。(1つを選択)

全体では、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」45.7%が最も高く、次いで「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」20.7%、「独居の息子・娘との同居」12.3%となっている。

男女別でみると、「1人暮らし」の割合は男性が女性を7.3ポイント上回る。

年代別でみると、「1人暮らし」、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合はいずれも年代が上がるにつれて割合が高くなっている。



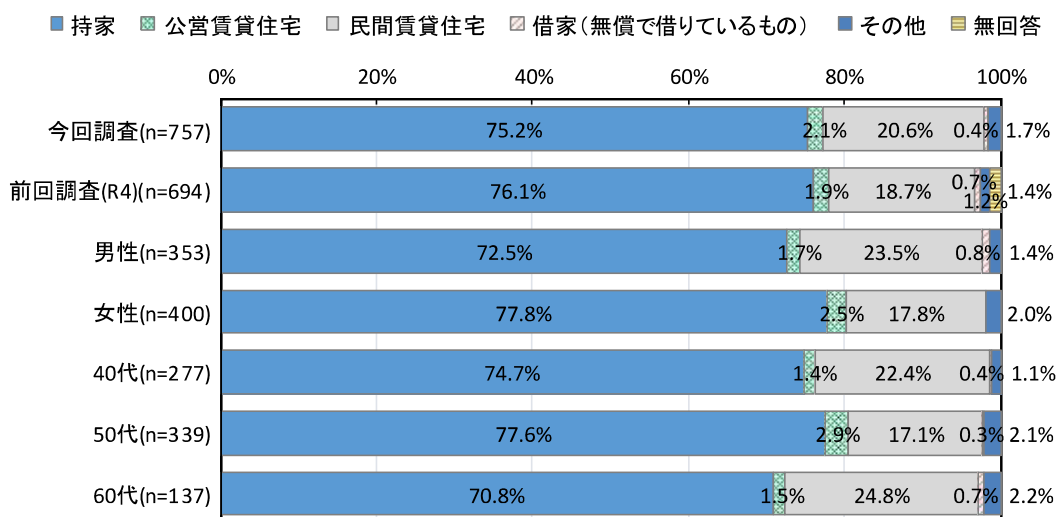
(2) お住まいは次のうちどれですか。(1つを選択)

全体では、「持家」75.2%が最も高く、次いで「民間賃貸住宅」20.6%、「公営賃貸住宅」2.1%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

男女別でみると、「持家」の割合は女性が男性を5.3ポイント上回る。一方で、「民間賃貸住宅」は男性が女性より5.7ポイント高くなっている。

年代別でみると、全ての年代で「持家」の割合が最も高く、7割以上を占めている。



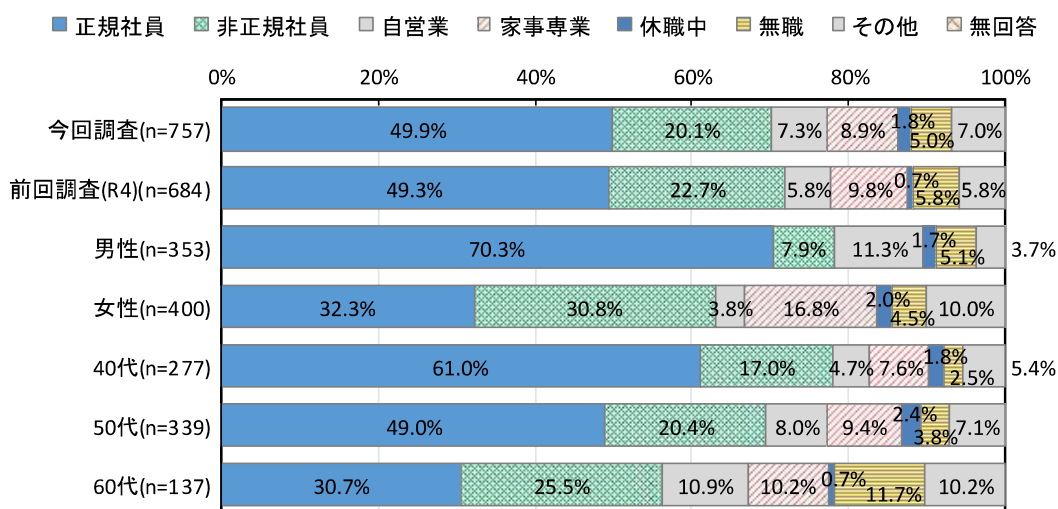
(3)お仕事は次のうちどれですか。(1つを選択)

全体では、「正規社員」49.9%が最も高く、次いで「非正規社員」20.1%、「家事専業」8.9%となっている。

前回調査と比較して大きな差異はみられない。

男女別でみると、「正規職員」の割合は男性が70.3%を占める一方で、女性は32.3%にとどまり、女性は「非正規職員」の割合が30.8%と男性より高くなっていることから、雇用形態には大きな男女差がみられる。

年代別でみると、「正規職員」は40代で61.0%と最も高く、年代が上がるにつれて低下している。一方で、「非正規職員」は年代が上がるにつれて割合が高くなっており、年齢とともに雇用形態が変化する傾向がみられる。



問2 地域の交流について

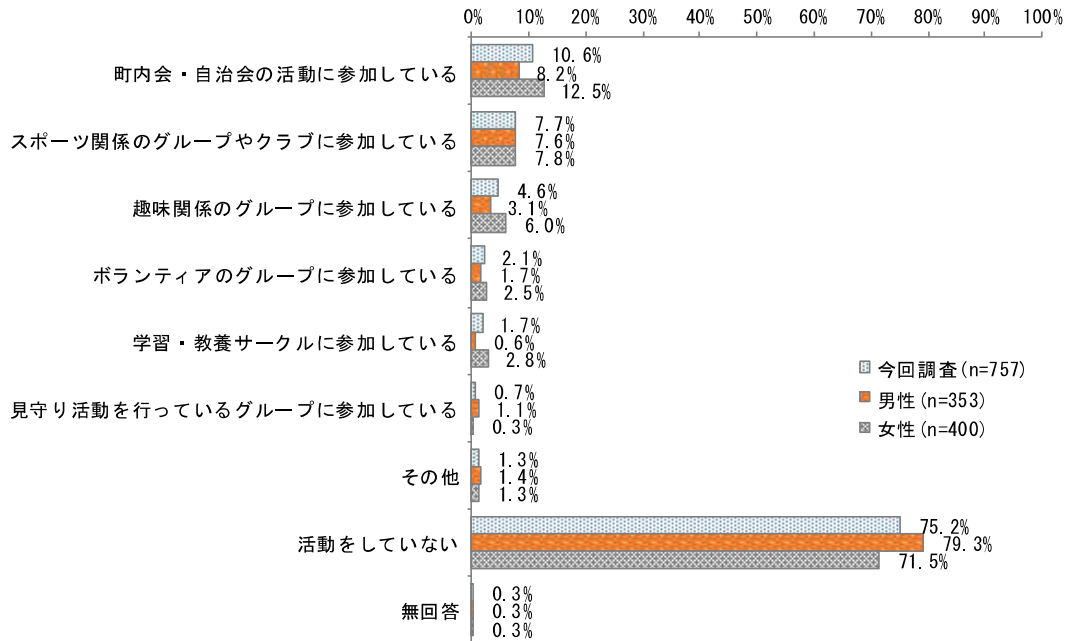
(1)地域での活動に参加していますか。(複数選択可)

全体では、「活動をしていない」75.2%が最も高く、次いで「町内会・自治会の活動に参加している」10.6%、「スポーツ関係のグループやクラブに参加している」7.7%となっている。

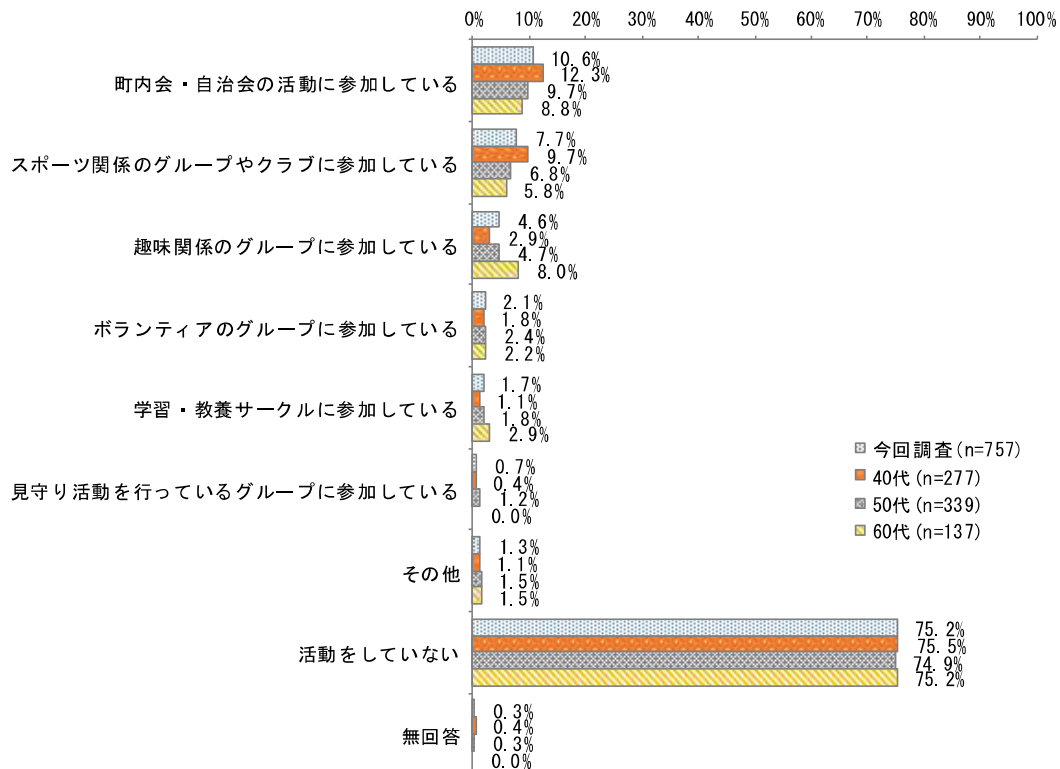
男女別でみると、「活動をしていない」は男性が女性を7.8ポイント上回る。

年代別でみると、「町内会・自治会の活動に参加している」、「スポーツ関係のグループやクラブに参加している」はいずれも40代、「趣味関係のグループに参加している」は60代でやや割合が高くなっている。

【地域活動への参加（男女別）】



【地域活動への参加（年代別）】



(2)日常生活で支援を必要とする方に対し、ボランティア活動等の一環として、手助けをしても良い
 と思えることはありますか。(複数選択可)

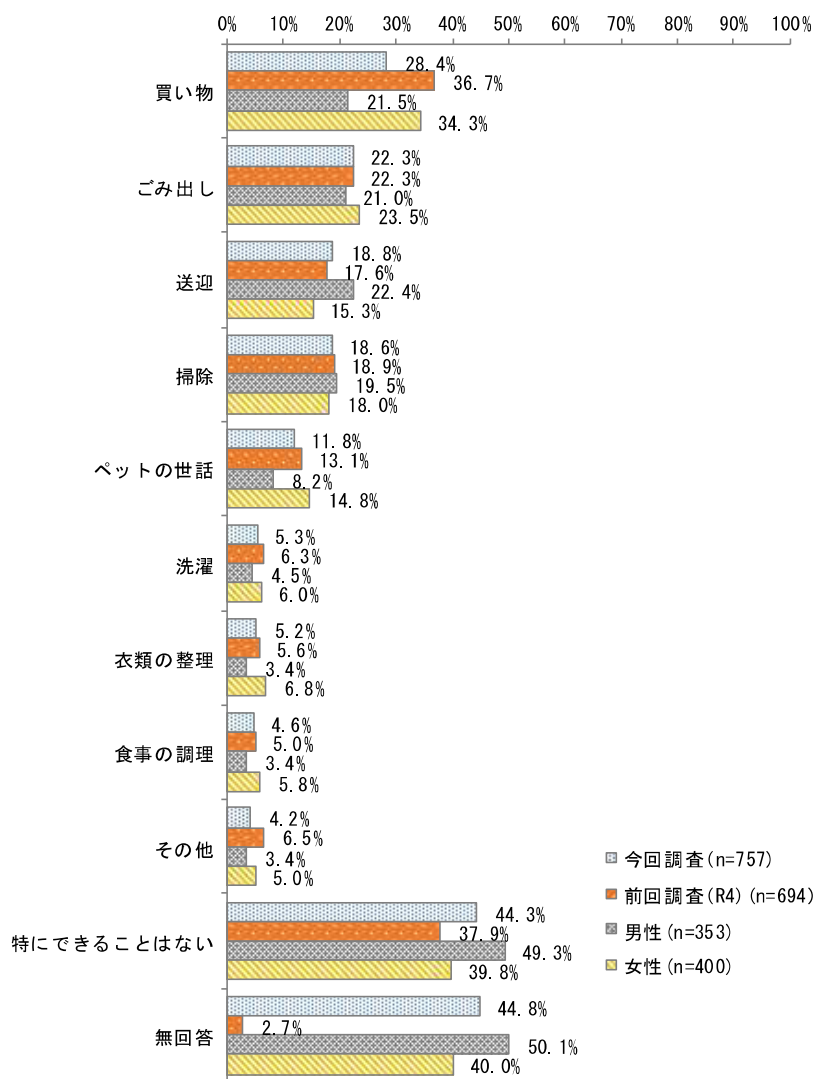
全体では、「特にできることはない」44.3%が最も高く、次いで「買い物」28.4%、「ごみ出し」22.3%となっている。

前回調査と比較すると、「買い物」は8.3ポイント減少した一方で、「特にできることはない」は6.4ポイント増加している。

男女別でみると、「送迎」では7.1ポイント、「特にできることはない」では9.5ポイント男性が女性を上回る。一方で、「買い物」では12.8ポイント、「ペットの世話」では6.6ポイント女性が男性より高くなっている。

年代別でみると、「買い物」、「ごみ出し」、「送迎」を除く全ての項目で、40代は他の年代に比べて割合が低くなっている。一方で、「特にできることはない」は40代が48.0%と最も高く、他の年代を上回っている。

【手助けをしても良いと思えること（男女別）】



【手助けをしても良いと思えること（年代別）】

